

ECLIPSE

HDDナビゲーション内蔵
HDD/DVD/MS 7.0VGA-AVシステム

AVN9903HD

取扱説明書

クイックガイド編

お買い上げいただき、ありがとうございます。

正しくご使用いただくために、
この「取扱説明書」をよくお読みください。

また、お読みになった後も必要なときに
すぐご覧になれるよう大切に保管してください。

FUJITSU TEN

1 安全にお使いいただくために

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様やほかの人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の表示をしています。その表示と内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

本機のために必ず守っていただきたいことや、知っておくと便利なことを下記の表示で記載しています。



アドバイス

本機の故障や破損を防ぐために守っていただきたいこと
本機が故障したときにしていただきたいこと



ワンポイント

知っておくと便利なこと
知っておいていただきたいこと

本書はやさしく取り扱ってください。

無理に広げたり引っ張ったりするとページがバラバラになってしまう場合があります。やさしい取り扱いをお願いします。

2 安全上のご注意



警告

- 本機はDC12V ⊖ アース車専用です。大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車で使用しないでください。火災の原因となります。
- ナビゲーションによるルート案内時も、実際の交通規制に従って走行してください。ナビゲーションによるルート案内のみに従って走行すると実際の交通規制に反する可能性があり、交通事故の原因となります。
- 安全のため、運転者は走行中に極力操作しないでください。走行中の操作はハンドル操作を誤るなど思わぬ事故につながるおそれがあります。車を停車させてから操作をしてください。なお、走行中に画面を見るときは、必要最小限の時間にしてください。前方不注意となり事故の原因となります。
- 運転者は走行中に地点登録・メモリ設定などの操作をしないでください。前方不注意となり事故の原因となりますので、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。
- 運転者がテレビやビデオなどを見るときは必ず安全な場所に車を停車し、サイドブレーキを使用してください。テレビやビデオは安全のため走行中は表示されません。
- ディスクおよび“メモリースティック”挿入口に異物を入れないでください。火災や感電の原因となります。
- 本機およびHDD（ハードディスクドライブ）を分解したり、改造しないでください。事故、火災、感電の原因となります。
- 機器内部に水や異物を入れないでください。発煙、発火、感電の原因となります。
- 画面が映らない、音が出ないなどの故障状態で使用しないでください。事故、火災、感電の原因となります。
- ヒューズを交換する時は、必ず規定容量（アンペア数）のヒューズを使用してください。規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災の原因となります。
- 万一、異物が入った、水がかかった、煙が出る、変な匂いがするなど異常が起こったら、直ちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店に相談してください。そのまま使用すると事故、火災、感電の原因となります。
- 雷が鳴りだしたら、アンテナ線や本機に触れないでください。落雷により感電の危険性があります。
- 本機を使用するために禁止された場所に駐・停車しないでください。



注意

- 本機はエンジンスイッチがONまたはACCのとき使用できますが、バッテリー保護のため、エンジンをかけた状態でご使用ください。
- 本機を車載用以外としては使用しないでください。感電やけがの原因となることがあります。
- 運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度で使用してください。車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。
- 電源ON時は、ボリュームに注意してください。電源ON時に突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。
- ディスクおよび“メモリースティック”挿入口に手や指を入れないでください。けがの原因となることがあります。

安全上のご注意



注意

- ディスプレイの立ち上げ、収納や角度調整時に、手や指を挟まないようにご注意ください。けがの原因となることがあります。
- 本機の放熱部に手を触れないでください。放熱部の熱でやけどをすることがあります。
- 本機の取り付け場所変更時は安全のため必ずお求めの販売店へ依頼してください。取り外し、取り付けには専門技術が必要です。
- 音声が割れる、歪むなどの異常状態で使用しないでください。火災の原因となることがあります。
- 当該液晶ディスプレイパネルは蛍光管が組み込まれていますので、地方自治体の条例、または、規則にしたがって破棄してください。
- 極端な高温や低温でのご使用は誤作動や故障の原因となります。とくに夏期は車内が高温になることがありますので、窓を開けるなどして温度を下げてからご使用ください。
- 本機の中に金属や水が入ったり、強い衝撃が加わると故障の原因となりますのでご注意ください。
- ディスプレイの立ち上げ／収納や、角度を調整する際、下記にご注意ください。

<A/T車の場合>

- 立ち上げ／収納時に、Pレンジで干渉する場合はNレンジに切り替えてから操作してください。(コラムA/Tの場合はPまたはNレンジで操作してください。)
- 角度の調整は、PまたはR、Nレンジで手などが干渉しないように設定しご使用ください。(走行レンジで干渉する場合は角度の設定はしないでください。)

<M/T車の場合>

- 立ち上げ／収納時に、1・3・5・**(R)**ポジションで干渉する場合はニュートラルに切り替えてから操作してください。但し、走行中は操作しないでください。
- 角度の調整は、1・3・5・**(R)**ポジションで手などが干渉しないように設定しご使用ください。(干渉する場合は角度の設定はしないでください。)



アドバイス

- 走行中操作できないものは走行状態になると色がトーンダウンし、操作できません。また、操作できないスイッチにタッチすると、画面に操作禁止メッセージが表示されます。
- 悪路走行中などの振動の激しい場合は、ディスクのデータを読み取れなくなり正常に作動しないことがあります。振動が静まり、しばらくすると正常にもどります。
- 気温が低いときにヒーターをつけた直後では、CD及びDVD読み取り部のレンズに露(水滴)が付くこと(結露)があります。このようなときは1時間ほどそのままの状態で放置しておけば結露が取り除かれ、正常に作動するようになります。何時間たっても正常にもどらない場合は、販売店にご相談ください。
- 本機をお買いあげ後、初めてご使用になるときや長時間バッテリーをはずしておいた場合などは、現在地を正しく表示しないことがあります。しばらくするとGPSの測位によって表示位置が修正されます。

本機およびHDD(ハードディスクドライブ)の故障、誤作動、または不具合により、録音されなかったときの録音内容および消失したデータの保証については補償できませんので、ご容赦ください。

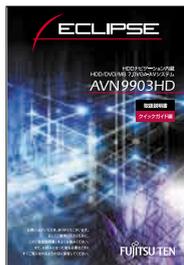
3 取扱説明書の構成

このような順に各取扱説明書をご利用ください

AVN9903HDでは3冊の取扱説明書を同梱しています。
ご利用状況に応じて取扱説明書を使い分けてください。

AVN9903HDの基本的な操作に慣れるまで

「取扱説明書クイックガイド編」をお読みください。
本機の基本的な使い方やふだんよく使う機能のみを
説明しています。



ナビゲーションの機能を全て活用したいとき

「取扱説明書ナビゲーション編」をお読みください。
ナビゲーションの全ての機能を説明しています。



オーディオの機能を全て活用したいとき

「取扱説明書オーディオ編」をお読みください。
オーディオの全ての機能を説明しています。



ワンポイント

取扱説明書で使用されている画面と実際の画面は、データベースの作成時期・種類等によって異なることがあります。また、ナビゲーションの画面では、VICS情報を表示していません。

4 本書の見方

セクションタイトル

セクションタイトルを表示しています。

項目タイトル

項目ごとにNo. とタイトルがつけられています。

操作タイトル

操作目的ごとにタイトルがつけられています。

操作例

具体的な目的ごとにタイトルがつけられています。

操作手順

操作の内容です。
番号の順に操作してください。

ナビゲーション

7 インフォメーション（情報）機能の操作

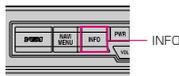
■ インフォメーション（情報）機能进行操作しよう

インフォメーション（情報）機能には、いろいろな便利な機能があります。例えば、施設の詳細な情報を表示したり、お車のメンテナンス情報を設定することができます。ここでは、「情報付き施設」の操作を説明します。ほかの機能については「取扱説明書ナビゲーション編」-「インフォメーション（情報）機能」を参照してください。

● 情報付き施設（スポットインフォメーションガイド）を操作するには

- 兵庫県の姫路城の詳細な情報を表示する

- 1 **INFO** を押して、インフォメーション（情報）画面を呼び出します。



- 2 **情報付施設** にタッチします。



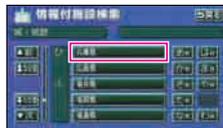
- 3 **城・城跡** にタッチします。

- **文化** にタッチすると項目を切り替えることができます。



- 4 **兵庫県** にタッチします。

- **▲前**、**▼次**、**▲50音**、**▼50音**、**あ～わ** にタッチすると、画面を切り替えることができます。詳しくは「取扱説明書ナビゲーション編」-「リスト画面の切り替え方」を参照してください。



5 姫路城 にタッチします。

- ▲前、▼次、▲50音、▼50音、あ～わ にタッチすると、画面を切り替えることができます。詳しくは「取扱説明書ナビゲーション編」-「リスト画面の切り替え方」を参照してください。



6 ↓(または↑)にタッチして画面を移動します。

- ◀前へ、または次へ▶ にタッチしても切り替えできます。
- 登録 にタッチすると、表示中のページを登録できます。
- 地図表示 にタッチすると地図が表示されます。



地図画面からは **目的地セット** にタッチすると、行き先に設定できます。また、**地点登録** にタッチすると、その場所をメモリ地点に登録することができます。

操作スイッチ

操作に必要なスイッチを示しています。

セクション見出し

セクションの見出しを表示しています。

操作画面

操作する画面を表示しています。

ワンポイント

操作に関連することなどを記述しています。

次ページへ...➡

操作手順が次ページに
続く場合を表します。

5 目次

お使いになる前に

| | |
|-----------------------|---|
| 安全にお使いいただくために | 2 |
| 安全上のご注意 | 3 |
| 取扱説明書の構成 | 5 |
| このような順に各取扱説明書をご利用ください | 5 |
| 本書の見方 | 6 |
| 目次 | 8 |

はじめに

| | |
|--------------------------------|----|
| 各部の名称 | 12 |
| パネルボタンについて | 12 |
| タッチスイッチについて | 14 |
| ディスプレイの立ち上げ／角度調整／収納 | 16 |
| ディスプレイを立ち上げよう | 16 |
| ディスプレイを好みの角度に調整しよう | 17 |
| ディスプレイを収納しよう | 18 |
| ディスプレイの自動立ち上げを設定しよう（オート立ち上げ機能） | 19 |
| 電源の入れ方・切り方 | 20 |
| 電源の入れ方・切り方について | 20 |
| ディスク・“メモリースティック”の出し入れ | 22 |
| CD、DVD、“メモリースティック”の入れ方・出し方について | 22 |
| 本機の作動について | 27 |
| 各機能の作動条件について | 27 |
| 本機のモードについて（ディスプレイ立ち上げ時） | 28 |
| 各モードについて理解しよう | 28 |
| 各モードを画面に表示してみよう | 29 |

| | |
|---------------------------------|-----------|
| 地図の操作 | 30 |
| 自分の車の位置を確認しよう | 30 |
| 地図を動かしてみよう（ワンタッチスクロール） | 31 |
| 地図の縮尺を変えてみよう | 32 |
| 地図の向きを変えてみよう | 33 |
| 地図の表示方法を変えてみよう | 34 |
| 地図にいろいろな施設のマークを表示しよう | 36 |
| 場所の登録 | 37 |
| 自宅を登録しておこう | 37 |
| お気に入りの場所を登録しよう | 43 |
| ルート案内について | 48 |
| ルート案内を開始するには | 48 |
| ルートの探索（行き先を指定） | 49 |
| 行き先を決めてルート探索をしよう | 49 |
| 地図を移動して探すには | 50 |
| 自宅に帰るには | 51 |
| 施設ジャンルから探すには | 52 |
| 電話番号から探すには | 54 |
| ルートの設定 | 57 |
| 希望のルートを設定しよう | 57 |
| ルートの道のりを確認しよう | 59 |
| ほかのルートを選んでみよう | 60 |
| ルートの途中に立ち寄り場所を追加してみよう | 61 |
| ルートの案内 | 63 |
| ルートの案内について | 63 |
| ルート案内に沿って車をスタートしよう | 67 |
| 案内を途中で中止・再開しよう | 68 |
| 行き先を消去しよう | 69 |
| インフォメーション（情報）機能の操作 | 70 |
| インフォメーション（情報）機能を操作しよう | 70 |

目次

ナビゲーション

| | |
|---------------------------------------|-----------|
| VICS機能の操作 | 72 |
| 渋滞情報を確認するには (VICS機能) | 72 |
| VICSの周波数に合わせよう | 73 |
| 文字・図形情報を表示しよう | 75 |
| 地図にVICS情報を表示しよう | 77 |
| その他の設定 | 80 |
| お車の情報 (ナンバープレートの分類、車両寸法) を登録しよう | 80 |
| ナビゲーションの画面に時計を表示するには | 81 |
| ナビゲーションの音量を調整しよう | 82 |
| 現在地を補正するには | 83 |

オーディオ

| | |
|-----------------------------------|------------|
| オーディオ操作の概要 | 88 |
| オーディオの機能について | 88 |
| オーディオのソースについて | 89 |
| ラジオの操作 | 92 |
| ラジオを聞くには | 92 |
| CD/MP3プレーヤーの操作 | 93 |
| CD/MP3ファイルを聞くには | 93 |
| “メモリースティック” プレーヤーの操作 | 96 |
| “メモリースティック” を聞くには | 96 |
| MUSIC JUKEの操作 | 98 |
| MUSIC JUKEについて | 98 |
| MUSIC JUKEに録音するには | 100 |
| MUSIC JUKEを聞くには | 102 |
| 自分だけのアルバムリストを作成してみよう | 104 |
| TVの操作 | 109 |
| TVを見るには | 109 |
| DVDプレーヤーの操作 | 111 |
| DVDビデオを見るには | 111 |

オーディオ

| | |
|-----------------------------|-----|
| 音質の調整 | 114 |
| 音質を調整しよう | 114 |
| その他の設定 | 120 |
| スイッチの操作音（“ピッ”）を変えてみよう | 120 |
| 画面の表示サイズを切り替えよう | 121 |

マルチウィンドウ

| | |
|----------------------------------|-----|
| マルチウィンドウの操作 | 122 |
| ナビゲーション画面とオーディオ画面を同時に表示しよう | 122 |
| マルチウィンドウを操作しよう | 124 |

ご参考に

| | |
|--------------------------------------|-----|
| バッテリーの交換時などについて | 126 |
| バッテリーを交換したときは（バッテリー電源を接続したときは） | 126 |
| お手入れについて | 128 |
| 本機やアンテナのお手入れについて | 128 |
| アフターサービスについて | 129 |
| アフターサービス | 129 |
| 仕様について | 131 |
| 各仕様 | 131 |
| 凡例 | 135 |

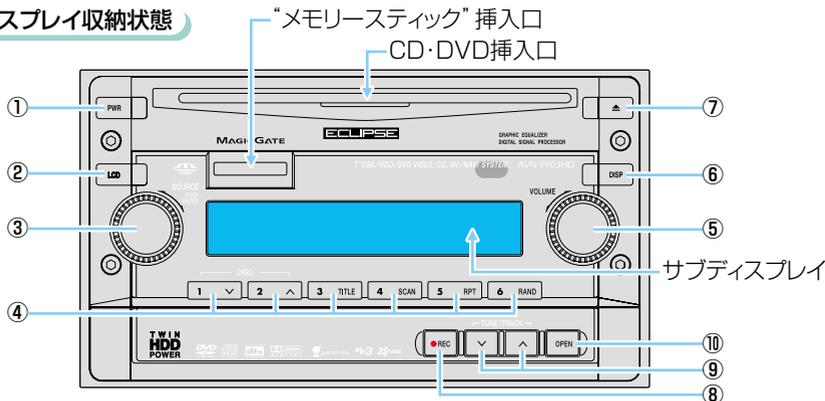
1 各部の名称

本機はパネルに配置しているボタン(パネルボタン)を押したり、画面に表示されるスイッチ(タッチスイッチ)を直接タッチして操作します。

■ パネルボタンについて

それぞれのパネルボタンを押して操作します。

ディスプレイ収納状態

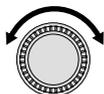


ディスプレイ収納時、またはOPEN時※に操作できます。

| | |
|----------------------|---|
| ① PWRボタン | テレビ・オーディオの電源を入れるときや、切るときに操作します。 |
| ② LCDボタン | サブディスプレイのコントラストを調整するときに操作します。 |
| ③ ロータリーボタン | オーディオやテレビなどの各ソースを切り替えるときに操作します。 |
| ④ 番号ボタン | テレビ・ラジオのプリセットチャンネルを選ぶときやDVD、CDなどのタイトルを表示するときに操作します。 |
| ⑤ VOLUMEボタン | テレビ・オーディオの音量を調整するときに操作します。 |
| ⑥ DISPボタン | サブディスプレイの表示を切り替えるときに操作します。 |
| ⑦ ▲イジェクトボタン | DVDやCDを取り出すときに操作します。 |
| ⑧ ●RECボタン | 再生中の音楽などを録音するときに操作します。 |
| ⑨ TUNE/TRACKボタン | テレビ・ラジオの選局、CDの選曲、DVDのチャプター選択などをするとときに操作します。 |
| ⑩ OPEN/TILT/EJECTボタン | ディスプレイの立ち上げ/収納や、OPEN、角度調整をするときに操作します。 |

※…OPEN時についてはディスク・メモリースティックの出し入れ(23ページ)を参照してください。

■ ロータリーボタンを回す・押すと



FM

ラジオなどのソースが順に表示されます。



ピッ

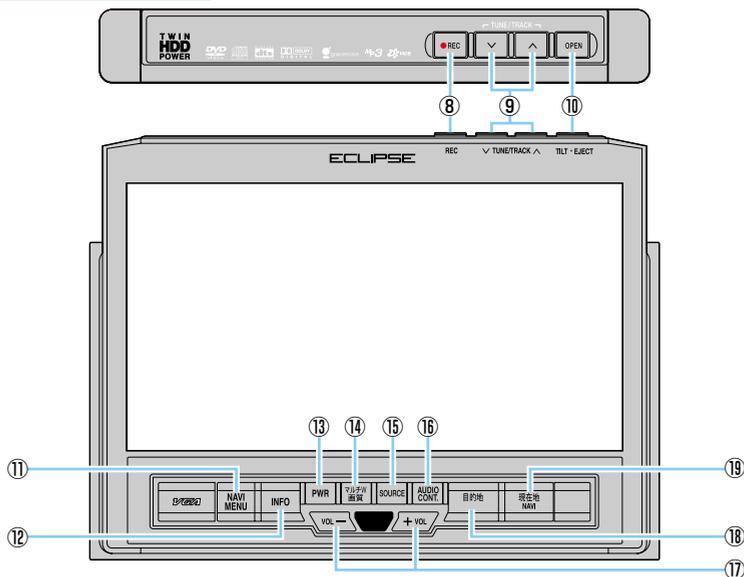


FM

FM ON

表示のソースに切り替わります。

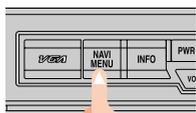
ディスプレイ立ち上げ状態



ディスプレイ立ち上げ時に操作できます。

| | | |
|----|---------------|-------------------------------------|
| 11 | NAVI MENUボタン | ナビゲーションのメニュー画面を表示するときに操作します。 |
| 12 | INFOボタン | ナビゲーションの各情報機能を表示するときに操作します。 |
| 13 | PWRボタン | テレビ・オーディオの電源を入れるときや、切るときに押します。 |
| 14 | マルチW/画質ボタン | マルチメニューを表示するときや画質の調整、画面を消すときに操作します。 |
| 15 | SOURCEボタン | オーディオのメニュー画面を表示するときに操作します。 |
| 16 | AUDIO CONTボタン | テレビ・オーディオの操作画面を表示するときに操作します。 |
| 17 | VOLボタン | テレビ・オーディオの音量を調整するときに操作します。 |
| 18 | 目的地ボタン | ナビゲーションで目的地を設定するときに操作します。 |
| 19 | 現在地/NAVIボタン | ナビゲーション画面/現在地を表示するときに操作します。 |

NAVI MENU を押すと



ナビゲーションのメニュー画面が表示されます。



本機はリモコン対応になっています。
別売の10キーリモコンを販売店でお求めください。

ワンポイント

各部の名称

タッチスイッチについて

画面のタッチスイッチにタッチして操作します。



タッチスイッチ



ピッ



ピッ

【タッチスイッチの操作について】

- タッチスイッチは“ピッ”という応答音が鳴るまでタッチしてください。
- 画面保護のため、タッチスイッチは指で軽くタッチしてください。
- スイッチの反応がないときは、一度画面から手を離してから再度タッチしてください。
- 操作できないタッチスイッチは、色がトーンダウンします。
- スイッチの機能が働いているときは、タッチスイッチの色が明るくなるものもあります。

■ <<OFF、ボタン消 にタッチすると



ピッ



タッチスイッチの表示が消えます。
ON>> にタッチするとタッチスイッチが表示されます。



ピッ



タッチスイッチの表示が消えます。
画面にタッチするとタッチスイッチが表示されます。

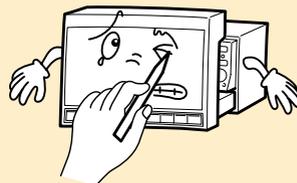


注意

タッチスイッチは指でタッチしてください。



ボールペン、シャープペンシルの先など先端の硬い物や先端の鋭利な物で操作すると、故障の原因になることがあります。



2 ディスプレイの立ち上げ/角度調整/収納

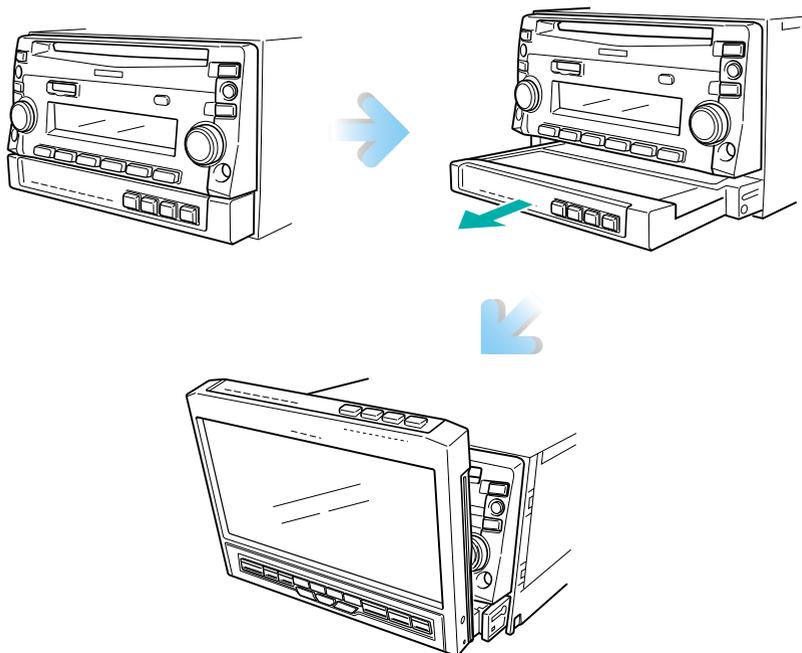
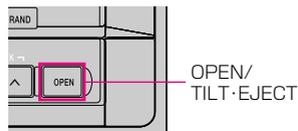
ディスプレイを立ち上げよう

- 1 車のエンジンを始動します。



- 2 **OPEN/TILT·EJECT** を押します。

ディスプレイが立ち上がります。



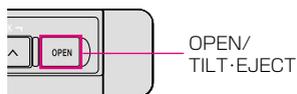
ディスプレイは無理に手で立ち上げないでください。
ディスプレイに無理な力が加わると、故障の原因になります。



車のエンジンを始動したときに、ディスプレイを自動で立ち上げることができます。
(オート立ち上げ機能) 19ページ参照

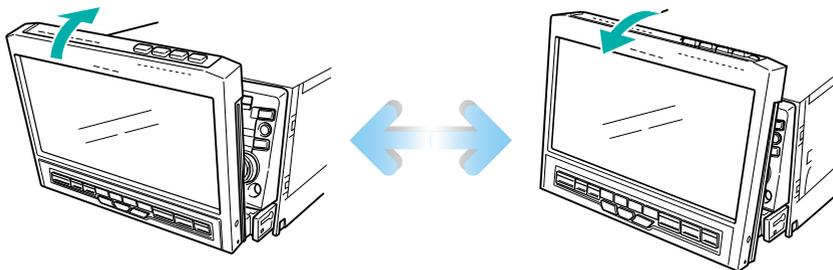
ディスプレイを好みの角度に調整しよう

- 1 ディ스플레이が立ち上がった状態で
OPEN/TILT・EJECT を押します。

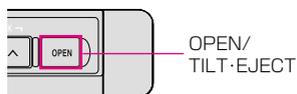


- 2 **TILT ▲**、または **TILT ▼** にタッチします。

- **TILT ▲** にタッチするとディスプレイが斜め上方向に1段階ずつ傾きます。
- **TILT ▼** にタッチするとディスプレイが斜め下方向に1段階ずつ傾きます。
- 傾きは下から上方向で最大7段階までの調整になります。



- 3 調整後、**OPEN/TILT・EJECT** を押しま
す。



注意

ディスプレイは無理に手で角度を調整しないでください。
ディスプレイに無理な力が加わると、故障の原因になります。



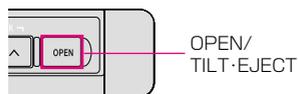
ワンポイント

調整したディスプレイの角度は記憶されていますので、再び、ディスプレイを立ち上げたときは、自動的に調整した角度になります。

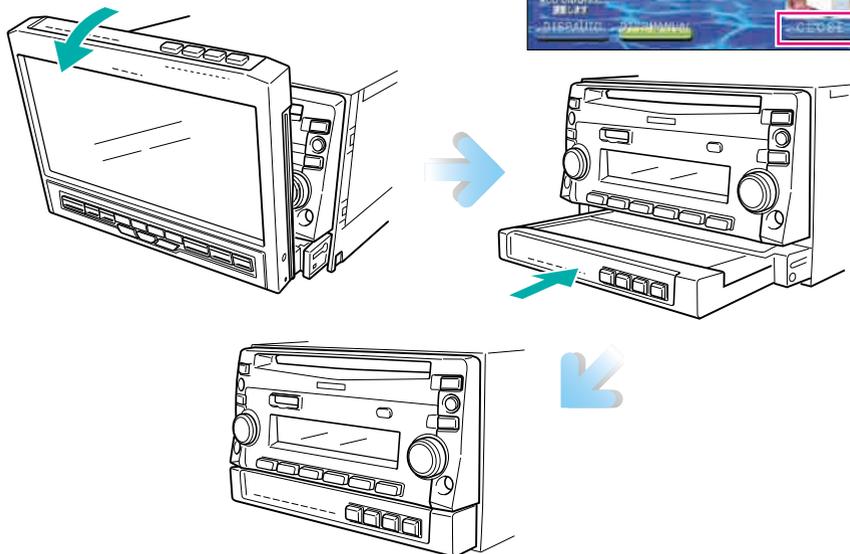
ディスプレイの立ち上げ/角度調整/収納

ディスプレイを収納しよう

- 1 ディ스플레이が立ち上がった状態で
OPEN/TILT・EJECT を押します。



- 2 **CLOSE** にタッチします。



注意

- ディ스플레이は無理に手で収納しないでください。ディスプレイに無理な力が加わると、故障の原因になります。
- ディ스플레이を収納したときは、ディスプレイが完全に収納されたことを確認してください。ディスプレイが途中で止まってしまった場合、そのまま放置すると故障することがあります。



ワンポイント

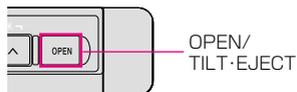
- **OPEN/TILT・EJECT** を約1秒間“ピッピッ”と音がするまで長押ししてもディスプレイを収納することができます。
- ディ스플레이を立ち上げたままエンジンスイッチをOFFにしても、**OPEN/TILT・EJECT** を約1秒間“ピッピッ”と音がするまで長押しすると、ディスプレイを収納することができます。

ディスプレイの自動立ち上げを設定しよう(オート立ち上げ機能)

車のエンジンを始動したときにディスプレイを自動で立ち上げることができます。

また、エンジンを切ると自動でディスプレイを収納することができます。

- 1 ディ스플레이が立ち上がった状態で
OPEN/TILT・EJECTを押します。



- 2 **DISPAUTO** にタッチします。

- **DISPAUTO** を設定するとスイッチが黄色になります。
- 自動立ち上げを設定しないときは、**DISPMANUAL** にタッチします。



- 3 設定後、**OPEN/TILT・EJECT** を押し
ます。



注意

ディスプレイが自動で立ち上がる、または収納するときに、シフトレバー (Pレンジ) などに干渉する場合は、オート立ち上げ機能を設定しないでください。



ワンポイント

ディスプレイを収納してからエンジンを切ったときは、再びエンジンを始動してもディスプレイは自動で立ち上がりません。**OPEN/TILT・EJECT** を押して立ち上げてください。

3 電源の入れ方・切り方

電源の入れ方・切り方について

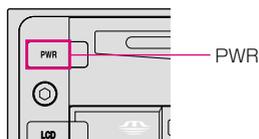
ディスプレイを立ち上げているときや収納しているときのどちらでもオーディオ・TVの電源を入れたり(ON)、切ったり(OFF)することができます。また、ディスプレイが立ち上がった状態でエンジンを始動すると自動でナビゲーション、またはTV※の画面を表示します。

※…前回、TVをご覧になっている途中でエンジンを切った場合はTVの画面が表示されます。

ディスプレイを収納しているとき

- 1 電源がOFFのときに **PWR** を押します。

- 電源が入り、サブディスプレイにソース※が表示されます。



※…前回、聞いていたオーディオ(ラジオなど)、またはご覧になっていたTVの電源がONになります。

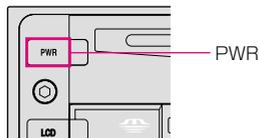


ワンポイント

ロータリーボタンを回して、ソース(ラジオなど)を表示してからロータリーボタンを押しても、電源をONにすることができます。(89ページ参照)

- 2 電源がONのときに **PWR** を押します。

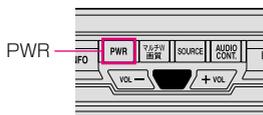
- 電源が切れて、サブディスプレイに“AUDIO OFF”が表示されます。



ディスプレイを立ち上げているとき

1 電源がOFFのときに **PWR** を押しま す。

- 電源が入り、画面の上部にオンスクリーン
プレイでソース※が表示されます。



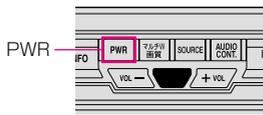
オンスクリーンプレイ



※…前回、聞いていたオーディオ（ラジオなど）、またはご覧になっていたTVの電源がONになります。

2 電源がONのときに **PWR** を押しま す。

- 電源が切れて、画面の上部にオンスクリーン
プレイで“AUDIO OFF”が表示されます。



オンスクリーンプレイ



4 ディスク・“メモリースティック”の出し入れ

CD、DVD、“メモリースティック”の入れ方・出し方について

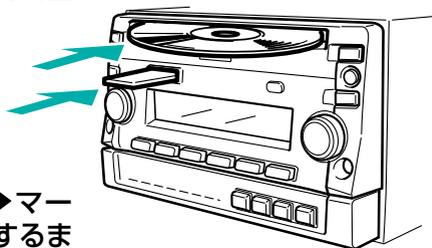
音楽をお聴きになるときは、CD、または“メモリースティック”を、DVDビデオを再生するときはDVDビデオを各挿入口に入れてください。

各ディスク (CD・DVD) および“メモリースティック”の入れ方

■ CD・DVDを挿入するには

1 ディスク挿入口にラベル面を上にしてCD、またはDVDを挿入します。

- CDを挿入したときは音楽CD、またはMP3の再生が始まります。
- DVDを挿入したときはDVDビデオの再生が始まります。



■ “メモリースティック”を挿入するには

1 “メモリースティック”挿入口に▶マークを奥にして、「カチッ」と音がするまで挿入します。

- 奥のストッパーに突き当たると、それ以上は挿入できませんので無理な力を加えないでください。（“メモリースティック”が数mmほど飛び出した状態になります。）
- “メモリースティック Duo”を挿入するときは、必ず“メモリースティック Duo”アダプターを取り付けてから挿入してください。（“メモリースティック Duo”のみを挿入すると取り出せないことがあります。）



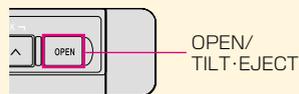
本機の初期の設定では、音楽CDを再生すると自動でMUSIC JUKEに録音が始まります。録音を中止するには、**[●REC]**を1秒以上押してください。（詳しくは、「MUSIC JUKEの操作」98ページを参照してください。）



- DVDビデオおよびCDの挿入口は同じですので、どちらか一方の使用になります。
- 地図ディスク (DVD-ROM) は使用できませんので差し込まないでください。

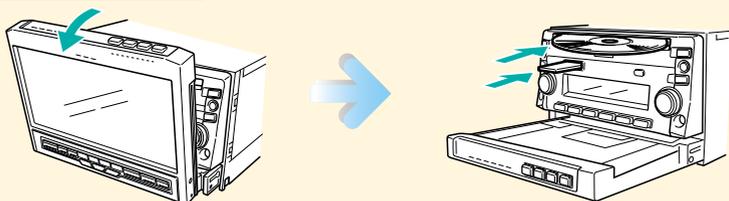
ディスプレイが立ち上がっているときは

1 **OPEN/TILT・EJECT** を押します。



2 **OPEN**、または **▲DVD/CD** にタッチします。

- ディスプレイがOPENした（前に倒れた）状態になりますので、希望のディスク、または“メモリースティック”を挿入してください。
- ディスクを挿入後は、ディスプレイが自動で立ち上がります。
- “メモリースティック”挿入後は、**OPEN/TILT・EJECT** を押してください。



注意

- 各ディスク、または“メモリースティック”の挿入途中に **OPEN/TILT・EJECT** を押さないでください。傷つけるおそれがあります。
- ディスプレイは無理に手で前に倒れたり、立ち上げないでください。ディスプレイに無理な力が加わると、故障の原因になります。
- ディスプレイをOPENするときオートマチックチェンジレバー（“P”位置）もしくはシフトレバー（1・3・5・Ⓜ位置）やカップホルダー上の缶などに干渉する場合は、チェンジレバーもしくはシフトレバーを“N”または“ニュートラル”位置にするか缶などを取り除いてから行ってください。
- ディスプレイをOPENしたときは、ディスプレイ上にコップや缶などの物を置かないでください。ディスプレイが損傷するおそれがあります。
- ディスプレイにジュースなどをこぼしたときは、すぐにふき取ってください。そのまま放置しておくと故障するおそれがあります。



ワンポイント

OPEN/TILT・EJECT を約1秒間“ヒッピツ”と音がするまで長押ししてもディスプレイを収納することができます。

ディスク・"メモリースティック"の出し入れ



ワンポイント

■DVDについて

- 次のマークの付いたDVDビデオディスクが使用できます。



- DVDビデオディスクによっては一部の機能が使用できない場合があります。
- DVDビデオディスクを扱うときは、中心の穴と端をはさんで持ち、ラベル面を上にしてください。

■CDについて

- 下記のマークの付いた音楽用CDやCD-R (CD-Recordable)、CD-RW (CD-ReWritable) が使用できます。(詳しくは「取扱説明書オーディオ編」-「ご使用になる前に」を参照してください。)



- CD-R、CD-RWは、ディスクの特性、キズ、汚れ、長時間の車室内環境における劣化により再生できない場合があります。またファイナライズ処理されていないCD-R、CD-RWは再生できません。
- 下記のマークの付いたコピーコントロールCD、またはレーベルゲートCDは再生できない場合があります。詳しくは、コピーコントロールCDの説明書を参照してください。



- 8cmCDを差し込むときはアダプターを使用しないでください。CDを取り出せなくなるおそれがあります。
- CDを扱うときは、中心の穴と端をはさんで持ち、ラベル面を上にしてください。

■"メモリースティック"について

- 下記のマークの付いた"メモリースティック"、"メモリースティック Duo"、または"MGメモリースティック"("マジックゲートメモリースティック")が使用できます。(詳しくは「取扱説明書オーディオ編」-「ご使用になる前に」を参照してください。)



画像用

MAGICGATE

音楽および画像用

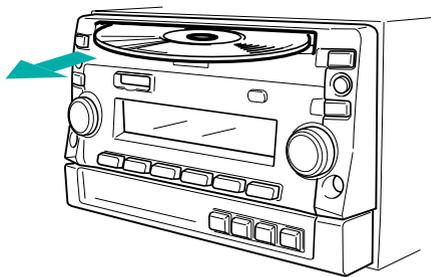
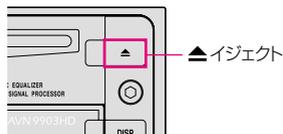
- "メモリースティック PRO"には対応していません。
- 128MBまでの容量の各"メモリースティック"に対応しています。
- "MGメモリースティック"再生中は抜かないでください。データが破損する恐れがあります。破損した場合、補償できませんのでご容赦ください。
- "MGメモリースティック"のフォーマット(初期化)は、専用機器で行ってください。専用機器以外でフォーマットを行った場合、再生できません。
- "メモリースティック"から画像データの読み込み中は抜かないでください。データが破損する恐れがあります。破損した場合、補償できませんのでご容赦ください。
- "メモリースティック"、または"MGメモリースティック"はご使用時以外、必ず本機から取り出してください。
- "Memory Stick"("メモリースティック")  および"MagicGate Memory Stick"("マジックゲートメモリースティック")  はソニー株式会社の登録商標です。

各ディスク (CD・DVD) および “メモリースティック” の出し方

■ CD・DVDを取り出すには

1 ▲ を押します。

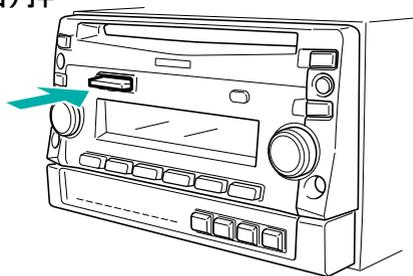
- 挿入していたディスクが出てきます。
- ディスクが出てこない (かみこみなど) のときは ▲ を長押し (5秒以上) してください。



■ “メモリースティック”を取り出すには

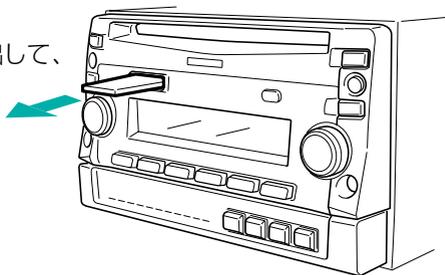
1 “メモリースティック”を軽く(1回)押します。

- “メモリースティック”が少し飛び出した状態になります。



2 飛び出した “メモリースティック” を取り出します。

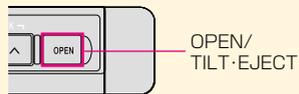
- “メモリースティック”はすぐ取り出して、保管してください。



ディスク・"メモリースティック"の出し入れ

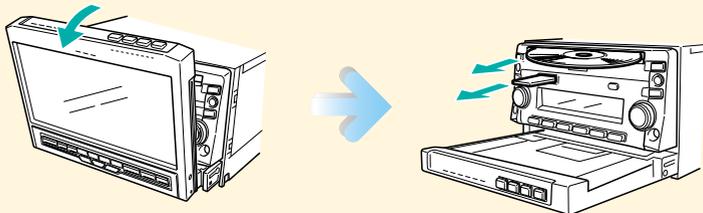
ディスプレイが立ち上がっているときは

- 1 **OPEN/TILT・EJECT** を押します。



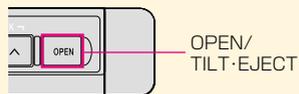
- 2 **OPEN**、または **▲DVD/CD** にタッチします。

- ディスプレイがOPENした（前に倒れた）状態になりますので、ディスク、または“メモリースティック”を取り出してください。
- ▲DVD/CD** にタッチしたときは、自動で挿入していたディスクが出てきます。



- 3 取り出し後、**OPEN/TILT・EJECT** を押します。

- ディスプレイが再度、立ち上がります。



注意

- 各ディスク、または“メモリースティック”を取り出すとき、押し出された状態のまま **OPEN/TILT・EJECT** を押さないでください。傷つけるおそれがあります。
- ディスプレイは無理に手で前に倒れたり、立ち上げないでください。ディスプレイに無理な力が加わると、故障の原因になります。
- ディスプレイをOPENするときオートマチックチェンジレバー（“P”位置）もしくはシフトレバー（1・3・5・Ⓜ位置）やカップホルダー上の缶などに干渉する場合は、チェンジレバーもしくはシフトレバーを“N”または“ニュートラル”位置にするか缶などを取り除いてから行ってください。
- ディスプレイをOPENしたときは、ディスプレイ上にコップや缶などの物を置かないでください。ディスプレイが損傷するおそれがあります。
- ディスプレイにジュースなどをこぼしたときは、すぐにふき取ってください。そのまま放置しておくと故障するおそれがあります。



ワンポイント

OPEN/TILT・EJECT を約1秒間“ピッピッ”と音がするまで長押ししてもディスプレイを収納することができます。

5 本機の作動について

各機能の作動条件について

本機の機能は、次の条件（エンジンスイッチの位置）により、操作できる場合とできない場合があります。

○：操作できます ×：操作できません

| 各機能 | エンジンスイッチ OFF | ディスプレイOPEN/収納状態 | | | ディスプレイ立ち上げ状態 | | |
|--------------------------------|-----------------------|-------------------------------|-------------------------------|-------------------------------|-------------------------------|-------------------------------|-------------------------------|
| | | ACC | ON停車中 | ON走行中 | ACC | ON停車中 | ON走行中 |
| GPSナビゲーション/ インフォメーション(情報) | × | × | × | × | ○ | ○ | 安全上の配慮などから、操作できなくなる機能があります |
| オーディオ | × | 一部の機能のみ操作できます。 | 一部の機能のみ操作できます。 | 一部の機能のみ操作できます。 | ○ | ○ | 安全上の配慮などから、操作できなくなる機能があります |
| FM多重放送 (FM多重文字情報) | × | × | × | × | ○ | ○ | 走行中はご使用になれません。(一部の番組は操作できます) |
| テレビ※1 | × | 一部の機能のみ操作できます。 (音声のみになります) | 一部の機能のみ操作できます。 (音声のみになります) | 一部の機能のみ操作できます。 (音声のみになります) | ○ | ○ | 安全上の配慮などから、音声のみになります |
| DVD※1 | × | 一部の機能のみ操作できます。 (音声のみになります) | 一部の機能のみ操作できます。 (音声のみになります) | 一部の機能のみ操作できます。 (音声のみになります) | ○ | ○ | 安全上の配慮などから、音声のみになります |
| マルチウィンドウ | × | × | × | × | ○ | ○ | 安全上の配慮などから、操作できなくなる機能があります |
| ディスクおよび “メモリスティック” の出し入れ | × | ○ | ○ | ○ | ディスプレイをOPENまたは収納状態にして出し入れできます | ディスプレイをOPENまたは収納状態にして出し入れできます | ディスプレイをOPENまたは収納状態にして出し入れできます |
| ディスプレイの 角度調整/収納※2 | エンジンOFF後は収納することができません | × | × | × | ○ | ○ | ○ |

※1 テレビ/DVD画面は走行中、安全上の配慮などから音声のみになります。

※2 **OPEN/TILT・EJECT** を約1秒間“ピッピッ”と音がするまで長押しすると収納できます。

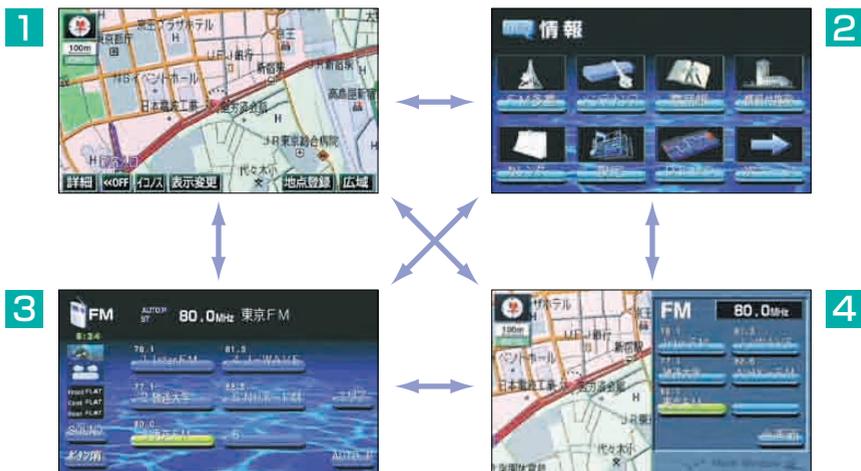


操作できないタッチスイッチは、色がトーンダウンし、操作できません。また、走行中に操作できないスイッチを操作すると、画面に操作禁止メッセージが表示されます。

6 本機のモードについて(ディスプレイ立ち上げ時)

各モードについて理解しよう

本機には大きく分けて「GPSナビゲーション」・「インフォメーション」・「オーディオ」・「マルチウィンドウ」の4つのモードがあります。どのモードからでも、希望のモードに切り替えることができます。



| | モード | 主な機能 |
|---|--|--|
| 1 | GPSナビゲーション | <ul style="list-style-type: none"> ● 現在地の表示 ● 目的地の案内 ● 地点 (自宅・メモリ地点) の登録 |
| 2 | インフォメーション (情報) | <ul style="list-style-type: none"> ● FM多重放送の受信 ● メンテナンス機能 ● カレンダー機能 ● 施設情報の検索 ● HDD (ハードディスクドライブ) のデータ管理など |
| 3 | オーディオ (ラジオ・CD・MP3・ “メモリースティック”・ MUSIC JUKE・ テレビ・DVD) | <ul style="list-style-type: none"> ● AM・FM放送の受信 ● CDプレーヤーの操作 ● MP3プレーヤーの操作 ● 音楽用“メモリースティック”の操作 ● MUSIC JUKEの操作 ● テレビ放送の受信 ● DVDプレーヤーの操作 |
| 4 | マルチウィンドウ | <ul style="list-style-type: none"> ● 2モードの同時表示 (ナビゲーションとオーディオ画面など) |

※ “メモリースティック” はソニー株式会社の登録商標です。

各モードを画面に表示してみよう

次のボタンを押すと各画面に切り替わります。

ナビゲーション画面

現在地/NAVI を押します。



インフォメーション(情報)画面

INFO を押します。



オーディオ操作画面

AUDIO CONT を押します。(作動時)^{*1} (OFF画面)^{*2}



(FMラジオ作動時)



*1:オーディオ、またはテレビ・DVD機能が作動しているときに表示します。オーディオ・テレビの操作については「取扱説明書オーディオ編」を参照してください。

*2:オーディオ・MUSIC JUKE、またはテレビ・DVDの機能がOFF状態時に表示されます。

マルチウィンドウ画面

マルチW/画質 を押します。



オンスクリーン(オンスクリーンプレイ)表示について

ナビゲーション画面表示中や画面が消えているときにオーディオまたはテレビ・DVDを操作(トラック選曲や周波数選局)すると、スクリーンが表示されます。スクリーン表示はしばらくすると自動で解除されます。

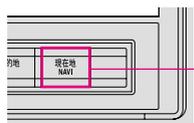


———スクリーン表示

1 地図の操作

自分の車の位置を確認しよう

現在地/NAVI を押して自分の車の現在地周辺を表示しましょう。



現在地/NAVI



自転車位置マーク

現在地と車が向いている方向が表示されます。車の走行に合わせて自動的に自転車位置マークと地図が動きます。

現在地画面の見方

スケール表示

表示されている地図の縮尺が表示されます。
「」の長さがこの場合は100mです。

GPSマーク

人工衛星からの絶対位置情報が利用されているときに、緑色で表示されます。

 受信状態のとき

 測定不能なとき

方位マーク

地図の方向が表示されます。

現在地の地名

現在地で **現在地/NAVI** を押すと表示されます。

自転車位置マーク



タッチスイッチ

画面によって各機能のスイッチが表示されます。

地図を動かしてみよう(ワンタッチスクロール)

地図に直接タッチして地図を動かしましょう。

地名表示

画面中心付近の地名が表示されます。



スクロール中



カーソルマーク

地図にタッチすると画面中心にカーソルマークが表示されます。

スクロール画面の見方

地名表示

地図の移動後、カーソル位置の地名が約6秒間、表示されます。



直線距離表示

自転車位置マークからカーソルマーク中心までの直線距離が表示されます。

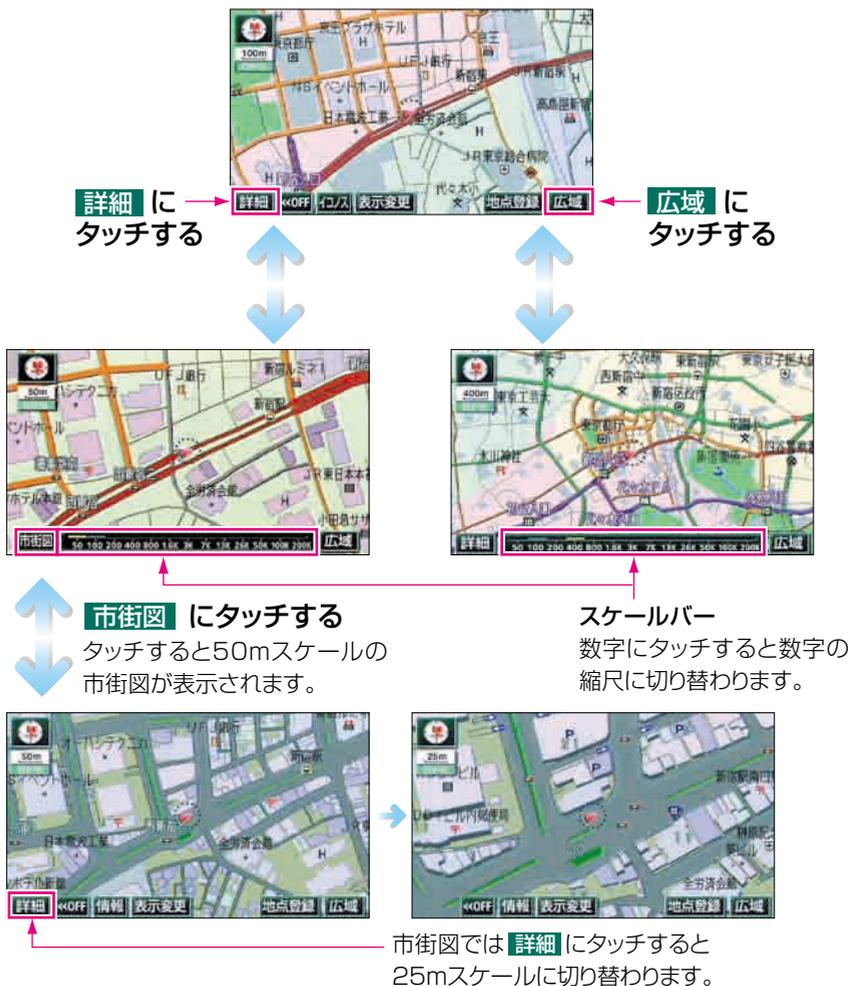
カーソルマーク

タッチし続けるとカーソルマークがに変わりスクロールが早くなります。

地図の操作

地図の縮尺を変えてみよう

タッチスイッチの **広域** にタッチすると、地図の縮尺が大きくなり広い範囲が表示されます。**詳細** にタッチすると地図の縮尺が小さくなり詳しい地図が表示されます。



詳細、**広域** にタッチするごとに1段階ずつ切り替わります。

詳細、**広域** を約1秒以上タッチし続けると、無段階*に切り替わります。

(※市街図では切り替わりません)

地図の向きを変えてみよう

表示している地図の向きをノースアップ(つねに北が上になるような地図で表示されます)とヘディングアップ(車の進行方向がつねに上になるような地図で表示されます)に切り替えることができます。

方位マーク(、または )にタッチすると、地図の向きが切り替わります。

ノースアップ表示

方位マーク表示



ヘディングアップ表示

方位マーク表示



- 3D表示(35ページ参照)のときは、ノースアップ表示に切り替えることができません。
- 現在地画面以外(スクロール画面など)では、ヘディングアップ表示に切り替えることができません。

地図の操作

地図の表示方法を変えてみよう

いろいろな状況に応じて地図の表示を変えることができます。
地図の表示方法には下記の4種類があります。

| | |
|-------|---------------------------|
| 2D | 通常の地図(平面の地図)で表示されます |
| 2Dツイン | 画面を左右2つに分割した地図で表示されます |
| 3D | 上空から見ているような立体的な地図で表示されます |
| 3Dツイン | 画面を左右2つに分割して立体的な地図で表示されます |

1 **表示変更** にタッチします。



2 **2D・3D・ツイン** にタッチします。



3 希望の表示方法にタッチします。



表示している地図のタッチスイッチが明るくなっています。

■ 2D にタッチすると

通常の地図 (平面の地図) で表示されます



■ 2Dツイン にタッチすると

画面を左右2つに分割した地図で表示されます



■ 3D にタッチすると

上空から見てのような立体的な地図で表示されます



■ 3Dツイン にタッチすると

画面を左右2つに分割して立体的な地図で表示されます



地図の操作

地図にいろいろな施設のマークを表示しよう

表示している地図にいろいろな施設のマーク(ランドマーク)を表示することができます。

- 1 **表示変更** にタッチします。



- 2 **周辺施設** にタッチします。



- 3 表示する **施設名** にタッチします。

- 複数のランドマークや画面の6種類以外を表示することもできます。詳しくは「取扱説明書ナビゲーション編」-「施設の表示」を参照してください。



- 選んだ施設ランドマークが表示されます。



施設ランドマーク

2 場所の登録

自宅を登録しておこう

本機を使い始める前に自宅の場所を登録しておきましょう。
自宅を登録しておくことで、ドライブ先から帰るとき簡単にルートを設定することができます。

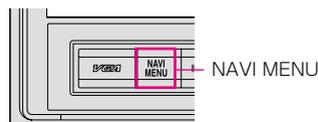
自宅の近くにいるときは



ワンポイント

現在地/NAVI を押して、自宅付近の地図を表示してから操作してください。

- 1 **NAVI MENU** を押して、メニュー画面を呼び出します。



- 2 **メモリ地点** にタッチします。



- 3 **登録** にタッチします。



- 4 **先程の地図**、または **現在地周辺** にタッチします。

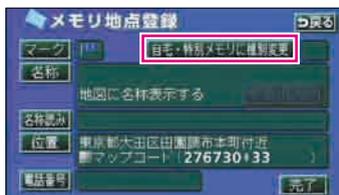


場所の登録

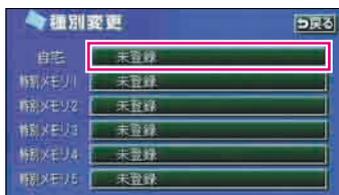
- 5 傘にタッチして自宅の位置に合わせます。
- 6 **セット** にタッチします。
- 7 **自宅・特別メモリに種別変更** にタッチします。



- 8 自宅の **未登録** にタッチします。

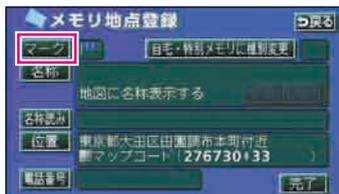


- 9 **マーク** にタッチします。

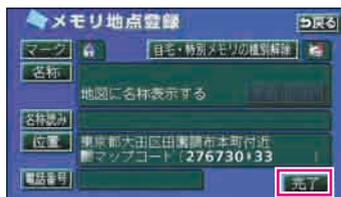


- 10 地図に登録するマークにタッチします。

- **マーク2**、**音声付き** にタッチすると、ちがうマークを選ぶことができます。詳しくは「取扱説明書ナビゲーション編」-「メモリ地点のマークを変更する」を参照してください。



11 完了 にタッチします。

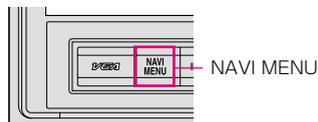


12 現在地/NAVI を押します。

- 現在地を表示します。

自宅以外にいるときは

1 NAVI MENU を押して、メニュー画面を呼び出します。



2 メモリ地点 にタッチします。



場所の登録

3 登録 にタッチします。

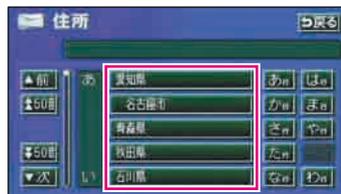


4 住所 にタッチします。

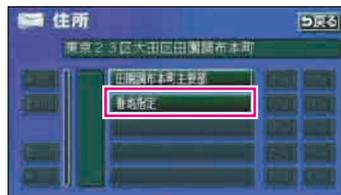


5 都道府県・市区町村・町名・丁目(字)の順にタッチします。

- ▲前、▼次、▲50音、▼50音、あ～わにタッチすると、画面を切り替えることができます。詳しくは「取扱説明書ナビゲーション編」-「リスト画面の切り替え方」を参照してください。



6 丁目(字)にタッチしたあと番地指定にタッチします。



7 数字、または- (ハイフン) を1つずつタッチして入力します。

- 間違えたときは 修正 にタッチすると、1つずつ消去されます。



8 **完了** にタッチします。



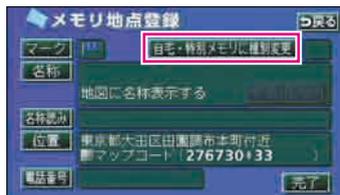
9 傘にタッチして自宅の位置に合わせます。



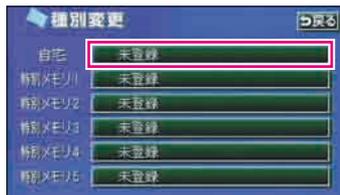
10 **セット** にタッチします。



11 **自宅・特別メモリに種別変更** にタッチします。

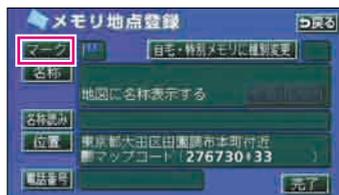


12 自宅の **未登録** にタッチします。



場所の登録

13 **マーク** にタッチします。

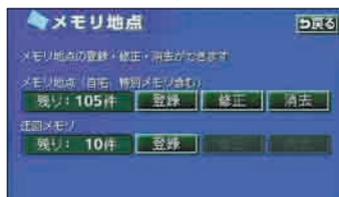
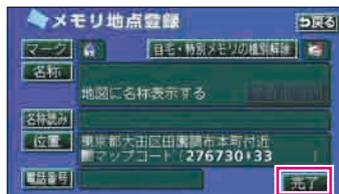


14 地図に登録するマークにタッチします。

- **マーク2**、**音声付き** にタッチすると、ちがうマークを選ぶことができます。詳しくは「取扱説明書ナビゲーション編」-「メモリ地点のマークを変更する」を参照してください。



15 **完了** にタッチします。



16 **現在地/NAVI** を押します。

- 現在地を表示します。



お気に入りの場所を登録しよう

地図にお気に入りの場所を最大106カ所まで登録することができます。場所を登録すると地図に旗(🚩)などのマークを表示することができます。

地図から登録するには

1 地図にタッチして📍マークを登録する場所に移動します。

- 現在地を登録するときは地図を移動する必要はありません。



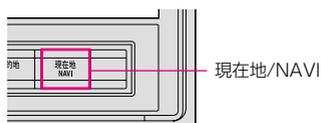
2 地点登録 にタッチします。

- 地図を移動していないときは📍、移動したときは📍の位置を🚩マークで登録します。



3 現在地/NAVI を押します。

- 現在地を表示します。

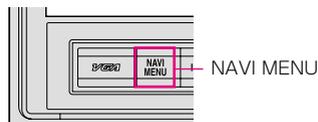


場所の登録

離れた場所を登録するには

■ 兵庫県、姫路市の姫路城を登録する

- ① **NAVI MENU** を押して、メニュー画面を呼び出します。



- ② **メモリ地点** にタッチします。



- ③ **登録** にタッチします。



- ④ **50音** にタッチします。



- ⑤ **ひ、め、し、`、し、`、よ、う** の順にタッチします。

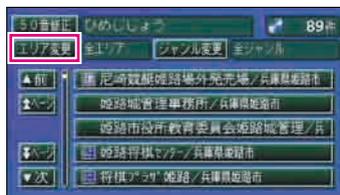


6 完了 にタッチします。

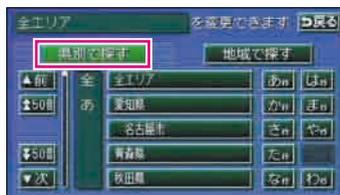
- 候補数が多いときは **エリア変更** や **ジャンル変更** から候補を絞り込んで探すことができます。



7 エリア変更 にタッチします。

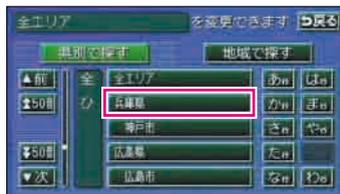


8 県別で探す にタッチします。



9 リストを切り替えて **兵庫県** にタッチします。

- ▲前、▼次、▲50音、▼50音、あ～わ にタッチすると、画面を切り替えることができます。詳しくは「取扱説明書ナビゲーション編」-「リスト画面の切り替え方」を参照してください。



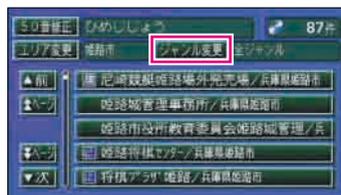
10 リストを切り替えて **姫路市** にタッチします。

- ▲前、▼次、▲50音、▼50音、あ～わ にタッチすると、画面を切り替えることができます。詳しくは「取扱説明書ナビゲーション編」-「リスト画面の切り替え方」を参照してください。



場所の登録

11 ジャンル変更 にタッチします。

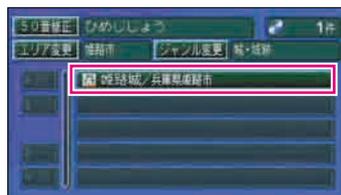


12 リストを切り替えて文化の 城・城跡 にタッチします。

- 文化 にタッチすると項目を切り替えることができます。



13 リストの 姫路城 にタッチします。

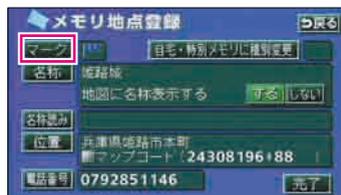


14 セット にタッチします。

- 地図 にタッチすると地図を移動することができます。



15 マーク にタッチします。

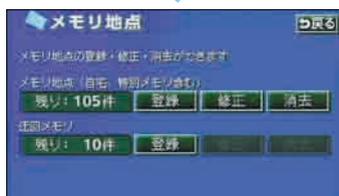
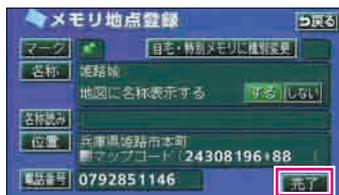


16 地図に登録するマークにタッチします。

- **マーク2**、**音声付き** にタッチすると、ちがうマークを選ぶことができます。詳しくは「取扱説明書ナビゲーション編」-「メモリ地点のマークを変更する」を参照してください。



17 完了 にタッチします。



18 現在地/NAVI を押します。

- 現在地を表示します。



3 ルート案内について

ルート案内を開始するには

行き先を指定すると、自動的に行き先までの道順(ルート)を探索します。これが「**ルート探索**」です。ルート探索が終わったら、探されたルートを行き先までのルートに決めます。これを「**ルート設定**」といいます。ルートを設定してドライブを開始すると、行き先までのルートを音声や状況に応じた画面で案内します。

この音声や画面による誘導を「**ルート案内**」といいます。

ルート探索(行き先を指定)

- ・ワンタッチで探す
- ・登録した場所から探す
- ・地図を呼び出して探す



ルート設定

- ・行き先までの道のりを確認
- ・希望のルートを選択
- ・立ち寄り場所の追加



ルート案内

- ・案内をスタート
- ・交差点等を案内
- ・高速道路等の料金・施設を案内



4 ルートの探索(行き先を指定)

行き先を決めてルート探索をしよう

行き先の情報を手がかりにして場所を探します。

- ① 地図を移動してすぐに探す場合……………「目的地セット」
- ② 自宅に帰る場合(自宅が登録されているとき)……………「自宅に帰る」
- ③ 行き先の施設ジャンル(駅・ゴルフ場・ホテルなど)がわかっている場合……………「施設」
- ④ 行き先の電話番号がわかっている場合……………「電話番号」

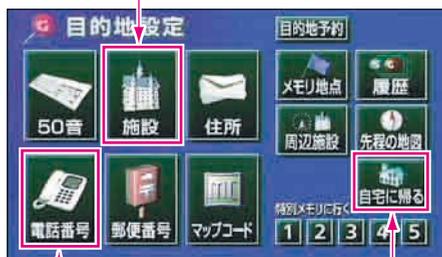
ほかにも名前から探す「50音」や郵便番号から探す「郵便番号」などもあります。

(詳しくは「取扱説明書ナビゲーション編」-「地図の呼び出し方法」を参照してください。)



① 地図を移動したとき

③ 施設ジャンルから探すとき



④ 電話番号から探すとき

② 自宅に帰るとき

ルートの探索（行き先を指定）

地図を移動して探すには

- 1 地図にタッチして  マークを移動します。



- 2 **目的地セット** にタッチします。



- 3  にタッチして行き先の位置に合わせます。



- 4 **目的地セット** にタッチします。

-  マークの位置に  マークが表示されます。



- 現在地から  マークまでのルートが探索され全ルートが表示されます。



- 全ルートを表示

自宅に帰るには

- 1 目的地 を押します。



- 2 自宅に帰る にタッチします。



- 現在地から自宅までのルートが探索され全ルートが表示されます。



- 全ルートを表示

ルートの探索（行き先を指定）

施設ジャンルから探すには

■ 東京都の上野動物園を探す

1 **目的地** を押します。



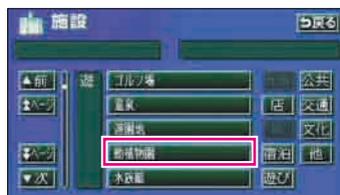
2 **施設** にタッチします。



3 **その他** にタッチします。



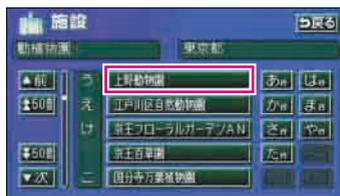
4 リストを切り替えて **動植物園** にタッチします。



5 リストを切り替えて **東京都** にタッチします。



- 6 リストを切り替えて **上野動物園** にタッチします。



- 7 **🏠** にタッチして地図を移動します。

- 位置を移動しないときは、8 の手順を操作します。



- 8 **目的地セット** にタッチします。



- 現在地から行き先までのルートが探索され全ルートが表示されます。



- 全ルートを表示

ルートの探索（行き先を指定）

電話番号から探すには

- 1 目的地 を押します。



- 2 電話番号 にタッチします。



- 3 市外局番から数字 を1番号ずつタッチして入力します。

- 間違えたときは **修正** にタッチして消去します。
- 市外局番と市内局番の入力のみときは、**完了** にタッチして、6 の手順を操作します。



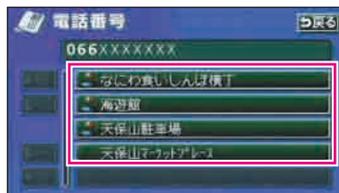
- 4 完了 にタッチします。

- 入力した電話番号に該当する施設があるときは **12** の手順を操作します。
- 入力した電話番号に複数の施設が該当するときは **5** の手順を操作します。
- 入力した電話番号に該当する施設がないときは市外・市内局番に該当する地域の地図が表示され、**6** の手順を操作します。
- 入力した電話番号が個人宅のときは、**10** の手順を操作します。（地図データベースに収録されているときに限ります。）



- 5 該当する施設名 にタッチします。

- 施設の地図が表示され **12** の手順を操作します。

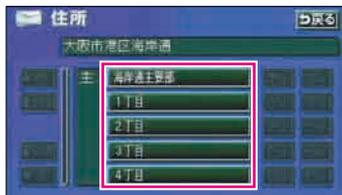


6 **住所一覧** にタッチします。



7 該当する **住所** にタッチします。

- 住所の地図が表示され **12** の手順を操作します。
- 番地を入力して該当する番地がないときは **8** の手順を操作します。



8 **周辺住所** にタッチします。



9 該当する **番地** にタッチします。

- 番地の地図が表示され、**12** の手順を操作します。



10 個人宅の名称(名字)を1文字ずつタッチして入力します。

- 該当する個人宅がないときは、文字のタッチスイッチがトーンダウンして入力できません。



11 **完了** にタッチします。

- 個人宅の地図が表示され、**12** の手順を操作します。

ルートの探索（行き先を指定）

12 目的地セット にタッチします。

- 現在地から行き先までのルートが表示されます。



- 全ルートを表示

5 ルートの設定

希望のルートを設定しよう

行き先を決定すると、現在地から行き先までの推奨するルートを探して画面に表示します。

画面には行き先までの道を色塗りして、到着予想時間や料金、距離などが表示されます。これを**全ルート図表示**といいます。

全ルート図表示からはルートの道のりを確認したり、ほかのルートを選んだり、ルートの途中に立ち寄り場所を追加することもできます。



■ 表示について

| | |
|----------------------|---|
| ① インターチェンジ (IC) 名称表示 | 有料道路を通るときは、インターチェンジ (IC) の入口 (下) と出口 (上) の名称が表示されます。 |
| ② 有料道路距離表示 | 通る有料道路の距離が表示されます。 |
| ③ 料金案内 | 通る有料道路の料金が表示されます。 |
| ④ 距離表示 | 行き先 (複数のときは最終目的地) までの距離が表示されます。 |
| ⑤ ICマーク | 有料道路を通るときは、インターチェンジ (IC) の入口と出口の位置に表示されます。[衛星画像 (IKONOS) 情報があるときはピンク色で表示します。] |
| ⑥ 到着予想時刻表示 | 行き先への到着予想時刻が表示されます。 |
| ⑦ 残距離表示 | 行き先 (ルート) までの残りの距離が表示されます。 |

ルートの設定

■ タッチスイッチについて

| | | |
|---|-------------------------------|---|
| 1 | 5ルート | ほかのルートを表示させ、選ぶことができます。(60ページ参照) |
| 2 | ルート変更 | 表示されているルートを変更することができます。また、行き先を追加したり、インターチェンジ(IC)を変更することができます。(詳しくは「取扱説明書ナビゲーション編」-「探索ルートの変更」を参照してください。) |
| 3 | 通過道路指定 | 地図にタッチすると表示されます。 通過道路指定 にタッチすると通過道路が指定できます。(詳しくは「取扱説明書ナビゲーション編」-「通過道路の指定」を参照してください。) |
| 4 | 案内開始 (案内開始後は、案内に戻る) | 案内を開始することができます。 |
| 5 | 情報 | ルートの道のり(案内道路情報)を表示させることができます。(次ページ参照) |
| 6 | アイコンス | 目的地( 、  ~ )やインターチェンジ()などピンク色のマークにタッチすると アイコンス が表示されます。 アイコンス にタッチするとその地点周辺の衛星画像(IKONOS)を表示することができます。(詳しくは「取扱説明書ナビゲーション編」-「衛星画像(IKONOS)の表示」を参照してください。) |
| 7 | インターチェンジ(IC)名称 | インターチェンジ(IC)の名称にタッチすると、インターチェンジ(IC)を変更することができます。(詳しくは「取扱説明書ナビゲーション編」-「乗降インターチェンジ(IC)の指定」を参照してください。) |
| 8 | 残距離表示 | 行き先が2カ所以上あるときは、残距離表示にタッチすると、表示される行き先を切り替えることができます。(詳しくは「取扱説明書ナビゲーション編」-「残距離表示の切り替え」を参照してください。) |



ワンポイント

- 探索されるルートは目的地周辺までの参考ルートです。必ずしも最短ルート・早く行けるルート・渋滞していないルートではありません。
- 料金は設定したお車の車両寸法など(80ページ参照)から計算していますが、通行料金の変更などにより、実際の料金と異なることがあります。
- 高速道路上に目的地を設定したとき、および高速道路走行中にルートを変更したときは、料金案内は行いません。

ルートの道のりを確認しよう

- 1 全ルート図表示で、「情報」にタッチします。

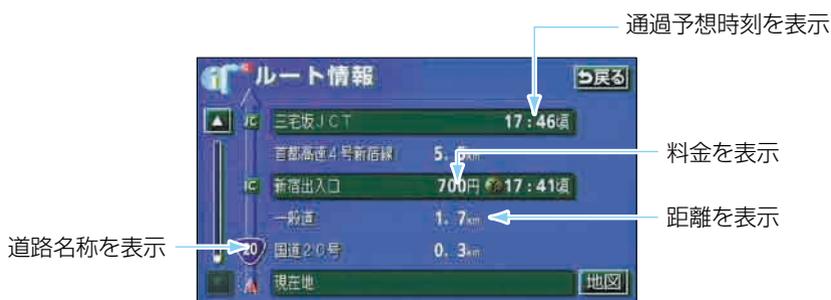


- 2 ▲ (または ▼) にタッチします。

- 道路の種別の変わり目などで道のりの情報を分割して表示します。
- 地図にタッチするとその場所の地図を表示します。



ルート情報画面の見方



ルートの設定

ほかのルートを選んでみよう

推奨ルート以外に有料道路優先ルート、一般道優先ルート、距離優先ルート、別ルートの合計5ルートを同時に表示して選ぶことができます。

- 1 全ルート図表示で、**5ルート** にタッチします。



- 2 5つのルートを色分けした表示で**全行程一覧表** にタッチします。

- **ルート名称** にタッチすると選んだルートの全ルート図を表示します。



- 3 希望の **ルート名称** にタッチします。

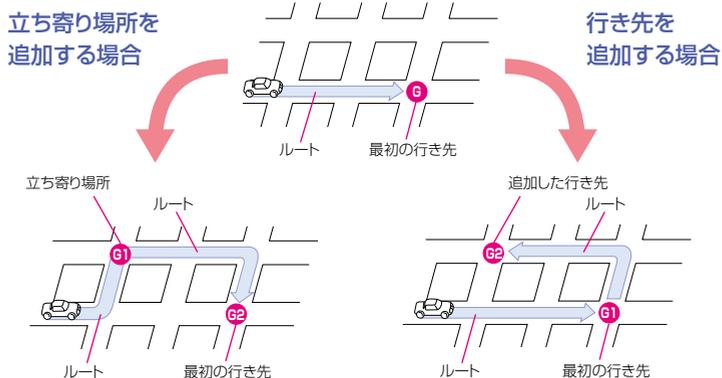
| ルート名称 | 全行程 | 有料道 | 料金 | 所要時間 |
|-------|-------|-------|--------|---------|
| 推奨 | 566km | 562km | 12300円 | 7時間18分 |
| 有料優先 | 566km | 562km | 12300円 | 7時間18分 |
| 一般優先 | 543km | 0.0km | | 18時間06分 |
| 距離優先 | 497km | 169km | 4650円 | 13時間19分 |
| 別ルート | 557km | 551km | 12200円 | 7時間11分 |

- 選んだルートの全ルート図を表示します。



ルートの途中に立ち寄り場所を追加してみよう

例えば、友人を迎えに行ってから行き先に行くときや、最初に決めた行き先の次に行き先を追加するなど、前もってルートを変更することができます。



- ① 全ルート図表示で、**ルート変更** にタッチします。



- ② 目的地・通過目的地の **追加** にタッチします。



- ③ 立ち寄り場所や追加する行き先の探す方法にタッチします。

- 行き先の探す方法については「取扱説明書ナビゲーション編」-「地図の呼び出し方法」を参照してください。



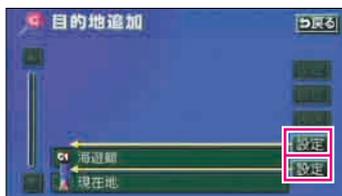
ルートの設定

- 4 呼び出した地図で **目的地セット** にタッチします。

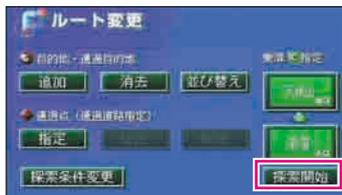


- 5 追加する区間の **設定** にタッチします。

- 現在地から行き先までの間に設定すると立ち寄り場所になります。
- 行き先の次に設定すると次の行き先になります。
- 立ち寄り場所や追加の行き先は最大5カ所まで設定できますので、2 ~ 5 の手順の操作を繰り返してください。



- 6 **探索開始** にタッチします。



- ルートを変更した全ルート図が表示されます。



- 全ルートを表示

6 ルートの案内

ルートの案内について

車をスタートさせると、車の動きに合わせて交差点・車線情報・道路形状・料金・高速道路情報などを設定された案内ポイントごとに画面を切り替えていきます。また、案内ポイントごとに音声でもわかりやすく案内します。

ルート案内中の現在地画面

走行する道路によって案内ポイントごとにいろいろな画面で案内します。

交差点の案内

現在地



直進する交差点に
近づくと…



曲がる交差点の700m手前になると…

レーンリスト



① 曲がる交差点までに交差点の名称と車線のレーンを案内します。
(車線のレーン情報があるときに限ります。)

曲がる交差点の300m手前になると…

交差点拡大図



- | | | |
|---|-------------|--|
| ① | ① レーン(車線)表示 | 直進、または曲がる交差点の車線が表示されます。 |
| | ② 交差点名称表示 | 直進、または曲がる交差点の名称が表示されます。 |
| | ③ 残距離表示 | 交差点までの距離が表示されます。 (交差点に近づくとともに  が短くなります。) |

ルートの案内

高速道路の案内

高速道路を走行中



分岐の案内



インターチェンジや
ジャンクションの
1km手前になると…

| | |
|--------------|--|
| ① 道路名称表示 | 走行中の道路名称が表示されます。 |
| ② 施設名称表示 | 施設 (SA・PA・IC) の名称が表示されます。 |
| ③ 距離表示 | 現在地からの距離が表示されます。 |
| ④ 通過予想時刻表示 | 選んだ施設 (SA・PA・IC) の通過予想時刻が表示されます。 |
| ⑤ VICSマーク・表示 | VICS情報が受信されたとき、表示されます。 (VICSマーク・表示については、78、79ページを参照してください。) |
| ⑥ 設備マーク表示 | 選んだ施設 (サービスエリア・パーキングエリア) にある設備が最大7つまで表示されます。(設備が多い場合、表示されないマークもあります。) |
| ⑦ 分岐点名称表示 | インターチェンジの出口、またはジャンクションの方面名称が表示されます。 |
| ⑧ 残距離表示 | 分岐点までの距離が表示されます。(分岐点が近づくとともに  が短くなります。) |

■ 案内画面の操作について



▼・▲、または **施設名** にタッチすると
選ばれる施設が切り替わります。

料金所や道路形状情報の案内

現在地画面



道路形状の
情報があると…



料金所に近づくと…



| | | | | |
|---|----------------|---------------------|--|----------------|
| ① | 道路 形状 表示 | 踏切 | | の警告マークが表示されます。 |
| | | 急カーブ | | |
| | | 合流道路 | | |
| ② | 料金表示 | 使用する有料道路の料金が表示されます。 | | |

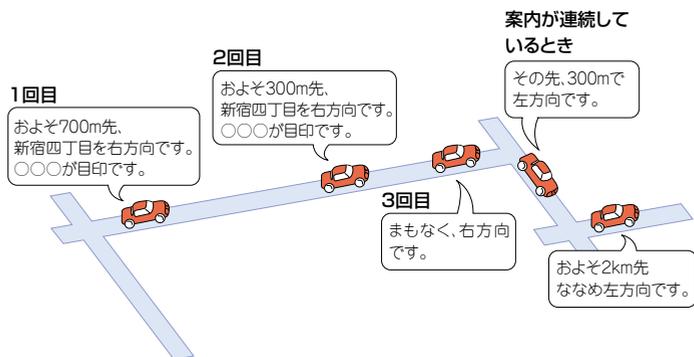
ルートの案内

音声によるルートの案内

ルートの案内中は、道路の状況や車の速度に応じて、案内ポイントまでの距離などを音声でわかりやすく案内します。

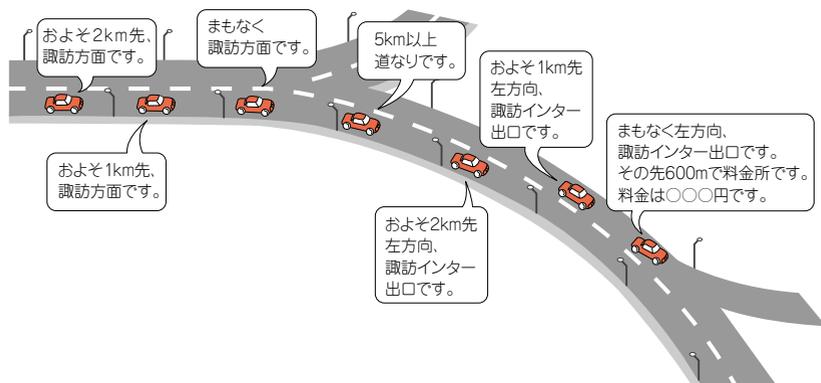
■ 一般道路を走行しているとき

車の速度に合わせ、交差点名や残りの距離、方向および目印(4種類)を最大3回までその状況にあわせて、音声で案内します。



■ 高速道路を走行しているとき

インターチェンジやジャンクションのおおよそ2km手前になると、音声で進行方向や方面を案内します。また、出口の料金所では料金と進行方向を音声で案内します。



ルート案内に沿って車をスタートしよう

1 全ルート図表示で、案内開始 にタッチします。

- 現在地の画面が表示され、「○○○○実際の交通規制にしたがって走行してください。」の音声案内が案内されます。



2 運転を開始してください。



ワンポイント

ルートから外れてしまったら

ルートから外れてしまっても、自動的に案内中のルートに戻るよう修正されます。
(自動再探索機能)

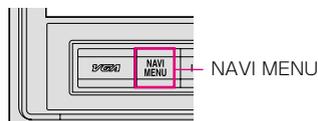
詳しくは「取扱説明書ナビゲーション編」-「自動再探索(ハイパールート)」を参照してください。

ルートの案内

案内を途中で中止・再開しよう

案内を途中で中止したり、中止した案内を再開することができます。

- 1 **NAVI MENU** を押して、メニュー画面を呼び出します。



■ 案内を中止する

- 2 **案内中止** にタッチします。

- 案内が中止されます。



- 地図のルートが消えます。(行き先のGマークは消えません。)



■ 案内を再開する

- 2 案内が中止のときは **案内再開** にタッチします。

- 案内が再開されます。



- 地図にルートが再び表示されます。



行き先を消去しよう

設定した行き先を消去することができます。また、ルート通りに行き先に着いても設定した **G** マークは消えませんので、下記の操作で消去してください。(ただし、新しく行き先を設定すると、前の **G** マークは消去されます。)

1 目的地を押します。



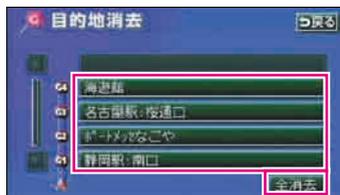
2 目的地消去にタッチします。

- 行き先が1つのときは **4** の手順を操作します。



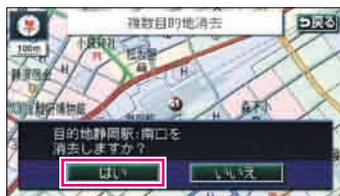
3 消去する行き先の名称にタッチします。

- 全てを消去するときは **全消去** にタッチします。



4 はいにタッチします。

- 行き先が残っているときは残った行き先の全ルート図を表示します。



7 インフォメーション(情報)機能の操作

インフォメーション(情報)機能进行操作しよう

インフォメーション(情報)機能には、いろいろな便利な機能があります。例えば、施設の詳細な情報を表示したり、お車のメンテナンス情報を設定することができます。

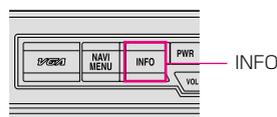
ここでは、「情報付き施設」の操作を説明します。

ほかの機能については「取扱説明書ナビゲーション編」-「インフォメーション(情報)機能」を参照してください。

情報付き施設(スポットインフォメーションガイド)を操作するには

■ 兵庫県の姫路城の詳細な情報を表示する

- 1 **INFO** を押して、インフォメーション(情報)画面を呼び出します。

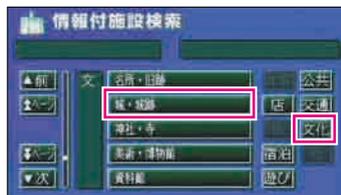


- 2 **情報付き施設** にタッチします。



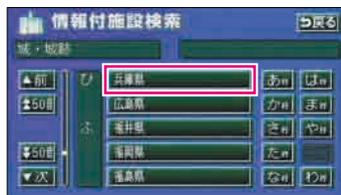
- 3 **城・城跡** にタッチします。

- **文化** にタッチすると項目を切り替えることができます。



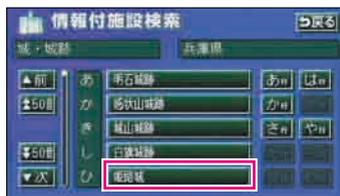
- 4 **兵庫県** にタッチします。

- **▲前**、**▼次**、**▲50音**、**▼50音**、**あ～わ** にタッチすると、画面を切り替えることができます。詳しくは「取扱説明書ナビゲーション編」-「リスト画面の切り替え方」を参照してください。



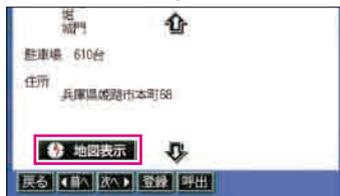
5 姫路城 にタッチします。

- ▲前、▼次、▲50音、▼50音、あ～わ にタッチすると、画面を切り替えることができます。詳しくは「取扱説明書ナビゲーション編」-「リスト画面の切り替え方」を参照してください。



6 ↓(または⇩) にタッチして画面を移動します。

- ◀前へ、または 次へ▶ にタッチしても切り替えできます。
- 登録 にタッチすると、表示中のページを登録できます。
- 地図表示 にタッチすると地図が表示されます。



ワンポイント

地図画面からは**目的地セット** にタッチすると、行き先に設定できます。また、**地点登録** にタッチすると、その場所をメモリ地点に登録することができます。

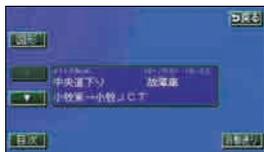
8 VICS機能の操作

渋滞情報を確認するには (VICS機能)

突然の渋滞や事故、道路工事などで道路が混雑している場所や通行止めの位置などを確認することができます。

さらに混雑・渋滞を矢印で色分けして表示するので、ひとめで把握することができます。これがVICS機能です。

VICS機能の表示には、「文字表示」、「図形表示」、「地図表示」があります。



文字表示



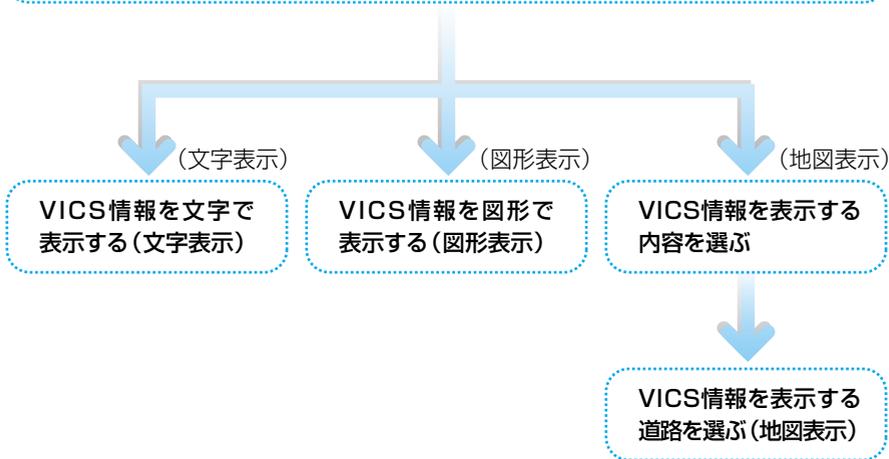
図形表示



地図表示

VICS機能を表示するには次の手順で操作してください。

VICS放送局の周波数に合わせる※

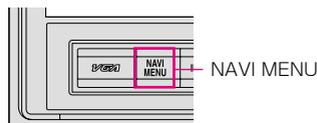


※VICS機能はオーディオがOFFのときは使用できません。

放送局については、「取扱説明書ナビゲーション編」-「VICS提供放送局の選択」を参照してください。

VICSの周波数に合わせよう

- 1 **NAVI MENU** を押して、メニュー画面を呼び出します。



- 2 **VICS** にタッチします。



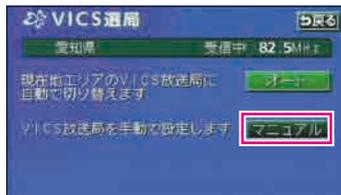
- 3 **VICS選局** にタッチします。



■ 手動(マニュアル)で合わせる

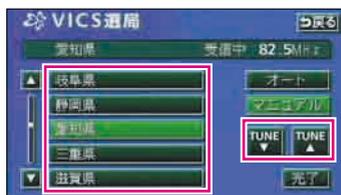
※初期状態では **オート** に設定されています。

- 4 **マニュアル** にタッチします。



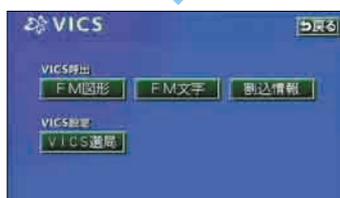
- 5 エリアから選ぶときは **都道府県** にタッチします。
周波数から選ぶときは **TUNE▼**、
または **TUNE▲** にタッチします。

- 受信すると『受信中』を表示します。

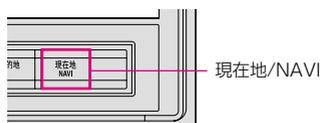


VICIS機能の操作

6 完了 にタッチします。



7 現在地/NAVI を押します。



- 現在地を表示します。



■ 自動(オート)で合わせる

4 オート にタッチします。

- 通常は「オート」で使用できます。
- 受信すると『受信中』を表示します。

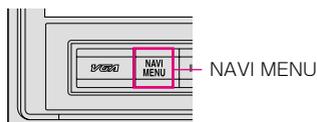


5 現在地/NAVI を押します。

- 現在地を表示します。

文字・図形情報を表示しよう

- 1 **NAVI MENU** を押して、メニュー画面を呼び出します。



- 2 **VICS** にタッチします。



- 3 **FM文字**、または **FM図形** にタッチします。



- 4 表示する番号にタッチします。



● 文字情報のとき

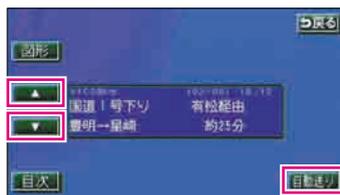


● 図形情報のとき

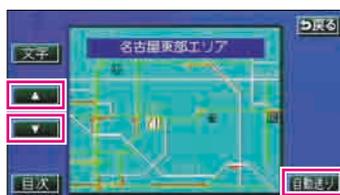
VICs機能の操作

5 ▲・▼、または 自動送り にタッチして表示を切り替えます。

- 文字情報のとき、図形情報に切り替えるときは **図形** にタッチします。
- 図形情報のとき、文字情報に切り替えるときは **文字** にタッチします。



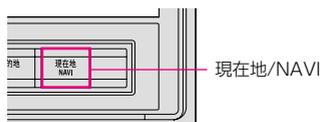
- 文字情報のとき



- 図形情報のとき

6 現在地/NAVI を押します。

- 現在地を表示します。



地図にVICS情報を表示しよう

- 1 **表示変更** にタッチします。



- 2 **VICS** にタッチします。

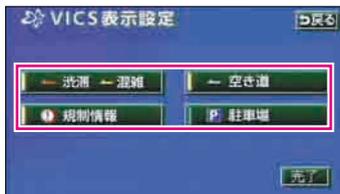


- 3 **表示設定** にタッチします。



- 4 **表示する内容** にタッチします。

渋滞・混雑 …渋滞・混雑情報の表示
空き道 …空いている情報の表示
規制情報 …事象・規制情報の表示
駐車場 …駐車場情報の表示



- 5 **完了** にタッチします。



VICS機能の操作

6 表示する道路の種類にタッチします。

- VICS情報を表示すると、道路の色が変わります。
- **非表示** にタッチするとVICS情報は表示されません。



VICS画面の見方について

駐車場、SA・PA情報

駐車場やサービスエリアの情報が表示されます



タイムスタンプ

VICS情報を受信した時刻が表示されます

- VICS情報を受信中のとき
- VICS情報を未受信のとき
- オーディオがOFFのとき

渋滞情報

赤色…渋滞

橙色…混雑

水色…空いている道

先頭



地図に表示されるVICS表示マークについて

VICS 情報の中で使用されるマークの代表的な例を示します。

| 表 示 | 情報内容 | 表 示 | 情報内容 |
|---|--------|---|----------------|
|  | 事故 |  | 駐車場 空 |
|  | 故障車 |  | 駐車場 満 |
|  | 路上障害 |  | 駐車場 混雑 |
|  | 注意 |  | 駐車場 不明 |
|  | 注意 |  | 駐車場 閉鎖 |
|  | 工事 |  | 対面通行 |
|  | 火災 |  | 車線規制 |
|  | 雨 |  | 徐行 |
|  | 凍結 |  | 入り口閉鎖 |
|  | 雪 |  | 大型通行止め |
|  | 作業 |  | 入り口規制 |
|  | 通行止め |  | 出口規制 |
|  | 右折禁止 |  | 速度規制 30km/h |
|  | 左折禁止 |  | SA PA情報 空 |
|  | 直進禁止 |  | SA PA情報 満 |
|  | 片側交互通行 |  | SA PA情報 混雑 |
|  | チェーン規制 |  | SA PA情報 不明 |
|  | 進入禁止 |  | イベント |

・表示されるマークは実際と異なることがあります。また、複数の施設を代表して1つのマークで表示することがあります。

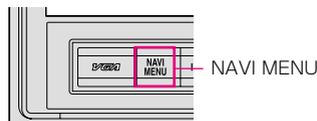
・凡例の色は印刷インクの関係で、実際の色とは異なって見えることがあります。

9 その他の設定

お車の情報(ナンバープレートの分類、車両寸法)を登録しよう

お車のナンバープレートの分類や車両寸法を登録しておくとお案内時の料金の計算や、施設周辺の駐車場を探すときの基準となります。

- 1 **NAVI MENU** を押して、メニュー画面を呼び出します。

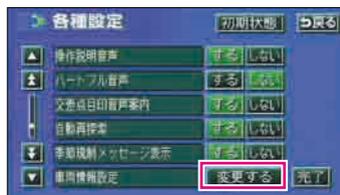


- 2 **各種設定** にタッチします。



- 3 車両情報設定の **変更する** にタッチします。

- 行き先が設定されていると、タッチできません。



- 4 ナンバープレートの分類 (**1**・**3**・**5-7**・**軽**) にタッチします。

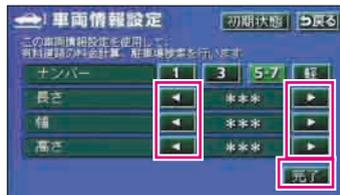


- 5 車両寸法の **◀**・**▶** にタッチして、入力します。

- 6 入力後、**完了** にタッチします。

- 7 **現在地/NAVI** を押します。

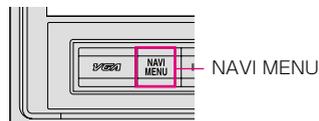
- 現在地を表示します。



ナビゲーションの画面に時計を表示するには

GPS時計を地図画面に表示することができます。

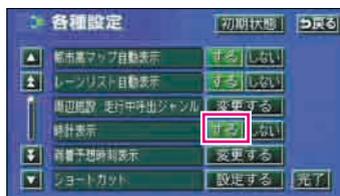
- 1 **NAVI MENU** を押して、メニュー画面を呼び出します。



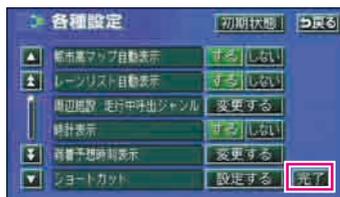
- 2 **各種設定** にタッチします。



- 3 **時計表示のする** にタッチします。



- 4 **完了** にタッチします。



- 画面の上に時計が表示されます。

時計表示



ワンポイント

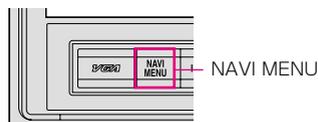
時計表示の時刻は、GPS電波を利用していますので、時刻調整はできません。(自動調整)

その他の設定

ナビゲーションの音量を調整しよう

操作の手引きを説明する音声やルートの案内中に聞こえる音声の音量を調整することができます。

- 1 **NAVI MENU** を押して、メニュー画面を呼び出します。



- 2 **音量設定** にタッチします。



- 3 希望の **小** ~ **大** にタッチします。

- **消音** にタッチすると、音声案内などが聞こえなくなります。



- 4 **完了** にタッチします。



パネルボタンで音量の調整(ラジオの音量調整など)をしても、ナビゲーションの音量は変わりません。上記の手順で、お好みの音量に調整してください。

現在地を補正するには

本機は基本的に、地図の自転車位置マーク  がずれても、しばらく走行すると、マップマッチングやGPS情報が利用されて、現在地が自動的に修正されます。(場合によっては、数分程度かかることがあります。)

GPS情報が利用されず、現在地が自動的に修正されないときは、安全な場所にいったん停車して、現在地の修正を行ってください。

次のようなときは補正を行うことが必要です。

- タイヤを交換したとき…自動補正を行ってください。(距離の補正)

また、次のようなときも補正を行うことができます。

- 実際の現在地と異なる場所に自転車位置マーク  が表示されている(自転車位置マーク  がずれている)とき…自転車位置マーク  の位置と向いている方向を修正することができます。(現在地の修正)
- 走行中、地図の自転車位置マーク  の進み方と、実際の車の進み方が全く違っているとき…自転車位置マーク  の進み方を修正することができます。(距離の補正)

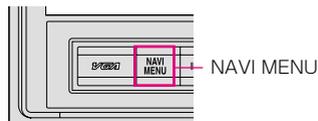
現在地の修正



ワンポイント

800mスケール図以下の詳細な地図で補正することができます。

- 1 **NAVI MENU** を押して、メニュー画面を呼び出します。

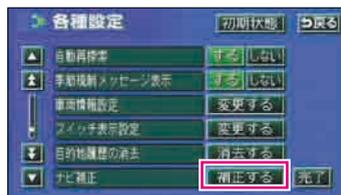


- 2 **各種設定** にタッチします。

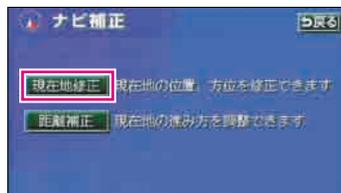


その他の設定

3 ナビ補正の **補正する** にタッチします。



4 **現在地修正** にタッチします。



5 傘 にタッチして実際の現在地に地図を動かします。



6 **セット** にタッチします。



7 、または  にタッチして方向を設定します。

- 方向を反時計まわりに動かすときは 、時計まわりに動かすときは  にタッチします。



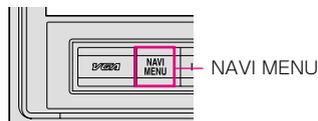
8 **セット** にタッチします。



その他の設定

距離の補正

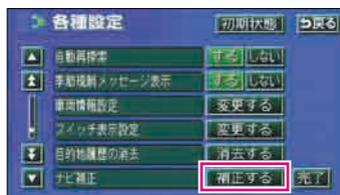
- ① **NAVI MENU** を押して、メニュー画面を呼び出します。



- ② **各種設定** にタッチします。

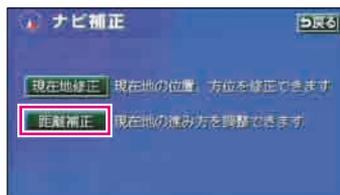


- ③ ナビ補正の **補正する** にタッチします。



- ④ **距離補正** にタッチします。

- 自動補正、または手動補正を行います。



ワンポイント

初期設定は、自動補正モードになっており、走行することにより自動で補正されます。

■ 自動補正するとき

5 自動補正 にタッチします。

- 自動補正中はタッチスイッチの色が明るくなります。
- GPS情報を利用しながら、しばらく走行すると、自動的に補正が終了し、タッチスイッチがもとにもどります。



ワンポイント

- 補正できないときは、販売店で点検を受けてください。
- 自動補正中は自転車位置がずれることがあります。
- 自動補正が終了しても距離補正の学習機能を持っているため、自転車位置マーク  の進み方が走行状態により、変化することがあります。
- 本機は、GPSと車速信号により、自動で距離の補正（自動補正）をしていますが、自動補正を上回る急激な変化（タイヤを新品に交換したり、本機を別のお車に取り付けたりするときなど）には、距離の補正が遅れることがあります。この場合は、GPS電波の受信状態が良好な道路を約10km走行してください。

■ 手動補正するとき



ワンポイント

- 自動補正中は、手動補正をすることはできません。
- 初期状態 にタッチすると、手動補正の設定が初期設定の状態にもどります。

5 自転車位置マーク の進み方が実際の車の進み方より遅く進むときは （進める）、早く進むときは （遅らせる）にタッチします。

- 最も進めると 、最も遅らせると  の色がトーンダウンし、タッチしても操作できません。



6 完了 にタッチします。



1 オーディオ操作の概要

オーディオの機能について

本機は、ディスプレイを収納した状態と、ディスプレイを立ち上げた状態のどちらからでも、オーディオを操作することができますが、操作手順や、操作できる機能が違います。



ワンポイント

本書では、ラジオ、CD、MP3、“メモリースティック”の操作をディスプレイ収納時の手順(①(赤色))で、MUSIC JUKE、TV、DVDの操作をディスプレイ立ち上げ時の手順(②(青色))で、説明しています。

●：操作できます ×：操作できません

| 機能 | | ディスプレイの状態 | ディスプレイ収納時 | ディスプレイ立ち上げ時 |
|-------------|------------------------|-----------|-----------|-------------|
| ソースの切り替え | | | ● | ● |
| ラジオ | 放送局の選局 | | ● | ● |
| | 放送局の記憶など | | ● | ● |
| CD | 選曲や頭出し | | ● | ● |
| | 早送り・早戻し | | ● | ● |
| MP3 | 音楽フォルダの選択 | | ● | ● |
| | 音楽ファイルの選択、早送り・早戻し | | ● | ● |
| MS | 選曲や頭出し | | ● | ● |
| | 早送り・早戻し | | ● | ● |
| MJ | 音楽や音声の録音 | | ● | ● |
| | プレイモードの選択 | | × | ● |
| | プレイリストやトラックの選曲、早送り・早戻し | | ● | ● |
| | オリジナルプレイリストの作成などの編集 | | × | ● |
| TV | チャンネルの選局や記憶 | | ●(選局のみ) | ● |
| | AUTO.P機能など | | × | ● |
| | マルチチャンネルの表示 | | × | ● |
| DVD | チャプターの切り替え、早送り・早戻し | | ● | ● |
| | ディスクメニューの操作 | | × | ● |
| | プレーヤーの設定、各検索機能など | | × | ● |
| その他 | 音質の調整や操作音の設定など | | × | ● |
| マルチウィンドウの操作 | | | × | ● |



ワンポイント

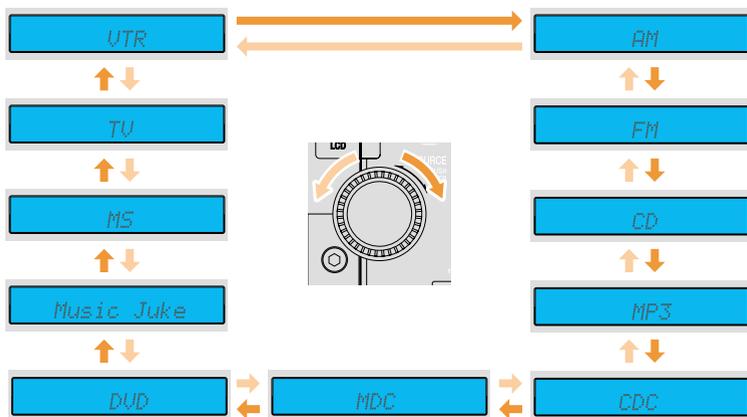
本書で説明している、ラジオ、CD、MP3、“メモリースティック”の操作は、ディスプレイ立ち上げ時にも操作できます。また、MUSIC JUKE、TV、DVDの操作の一部は、ディスプレイ収納時にも操作できます。詳しくは、「取扱説明書オーディオ編」を参照してください。

オーディオのソースについて

ディスプレイ収納時にソースを切り替える

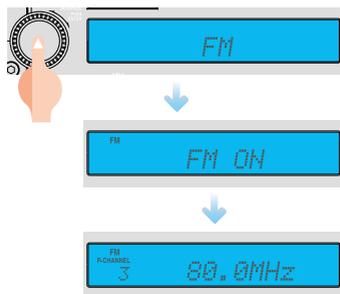
① ロータリーボタンを回します。

- ロータリーボタンを回すと、下記のようにサブディスプレイの表示が切り替わります。



② FMが表示されているときにロータリーボタンを押します。

- 最後に聞いていた放送局を受信します。
初めてお使いになる場合は、P-CHANNEL 1 76.0MHzを受信します。



ワンポイント

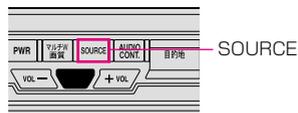
- CDやDVD、MEMORY STICK、MP3はディスクが挿入されていないと切り替わりません。また、VTRは機器が接続されていないと切り替わりません。
- CDC (CDチェンジャー)、MDC (MDチェンジャー)などは機器が接続されていないと表示されません。
- ディスク、メディアの入れ方については22ページを参照してください。

オーディオ操作の概要

ディスプレイ立ち上げ時にソースを切り替える

■ FMソースに切り替える

- ① **SOURCE** を押して、オーディオメニュー画面を呼び出します。



- ② **FM** にタッチします。

- 聞きたいオーディオソースにタッチすると、タッチしたソースがスクリーン表示されます。
- オンスクリーン表示は自動で消えます。(詳しくは29ページを参照してください。)



●オンスクリーン表示画面

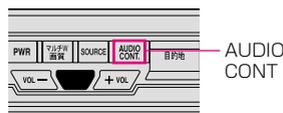


ワンポイント

- CDやDVD、MEMORY STICK、MP3はディスクが挿入されていないと切り替わりません。
- ディスク、メディアの入れ方については22ページを参照してください。

操作画面を表示させるには

- ① **AUDIO CONT** を押します。

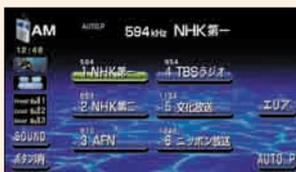


- 操作画面が表示されます。
- 各ソースの操作画面は、次ページのように表示されます。



●FM操作画面

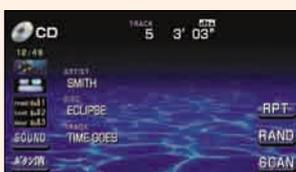
■ AM操作画面



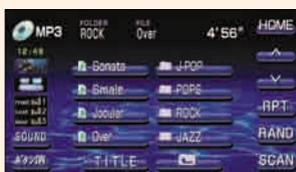
■ FM操作画面



■ CD操作画面



■ MP3操作画面



■ MEMORY STICK操作画面



■ MUSIC JUKE操作画面



■ TV操作画面



■ DVD操作画面



■ CDチェンジャー操作画面(別売)



■ MDチェンジャー操作画面(別売)



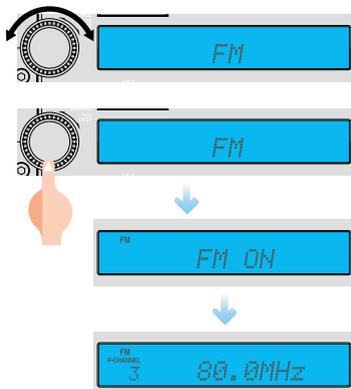
オーディオの操作画面を表示後、自動でナビゲーション画面などに切り替えることができます。詳しくは、「取扱説明書オーディオ編」-「画面の調整・設定」を参照してください。

2 ラジオの操作

ラジオを聞くには

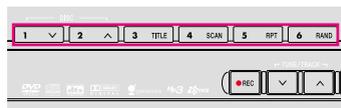
ソースをラジオにする

- 1 ロータリーボタンを回し、AM、またはFMを選びます。
- 2 AM、またはFMが表示されているときにロータリーボタンを押します。



よく聞く放送局を記憶させる

- 1 **▲**、**▼** を押します。
 - 手動選局 軽く押すと、1ステップずつ切り替わります。
 - 自動選局 "ピツ"と音がするまで押すと、自動で選局します。
- 2 番号ボタン **1** ~ **6** を"ピーツ"と音がするまで押します。
 - 番号ボタンを押すと、記憶させた放送局に切り替わります。

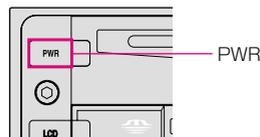


ワンポイント

番号ボタン **1** ~ **6** に放送局を記憶させると、ラジオ操作画面（ディスプレイ立ち上げ時）のプリセットスイッチにも同じ放送局が記憶されます。

ラジオを止める

- 1 **PWR** を押します。
 - もう一度押すと、最後に受信していた放送局を再受信します。



3 CD/MP3プレーヤーの操作

CD/MP3ファイルを聞くには

CD/MP3を再生する

■ ディスクが挿入されていないとき (CD選択時)

① 挿入口にディスクを挿入します。

- 自動で再生を始めます。



- 音楽CD (アルバム) を挿入し、再生が始まると、自動で録音を開始します。
 を1秒以上押すと、録音は停止します。詳しくは「MUSIC JUKEの操作」98ページを参照してください。



- MP3からは録音できません。

■ ディスクが挿入されているとき (CD選択時)

① ロータリーボタンを回し、CD、またはMP3を選びます。



② CD、またはMP3が表示されているときにロータリーボタンを押します。



- アルバム名、トラックタイトルを順にスクロール表示し、その後トラックタイトルを固定表示します。



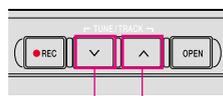
- 音楽データとMP3データが同じディスクに混在すると、再生できない場合があります。詳しくは、「取扱説明書オーディオ編」-「CDプレーヤーの操作」、または「MP3プレーヤーの操作」を参照してください。

CD/MP3プレーヤーの操作

聞きたい曲または音楽ファイルを選ぶ

① **▲**、**▼**を押します。

- CD再生時は次の曲に切り替わり、MP3再生時は次の音楽ファイルに切り替わります。

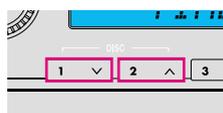


TUNE/TRACKボタン

フォルダを選ぶ (MP3のみ)

① 番号ボタン **1**、または **2** を押して、フォルダを切り替えます。

- フォルダが切り替わります。



サブディスプレイに表示される内容について

サブディスプレイの表示内容を切り替えることができます。

再生しているディスクのトラック情報、およびファイル情報や、トラックナンバー、再生時間を表示します。

- トラックタイトル表示



- トラックナンバー/再生時間表示



番号ボタン **3**
を2秒以上押す

番号ボタン **3** を短く押す



アーティスト名、トラックタイトルの順にスクロール表示し、その後トラックタイトルを固定表示します。



ワンポイント

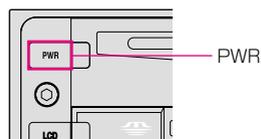
- アルバム名や曲のタイトルは、CD-TEXTやMP3ディスクの作成方法により表示できない場合があります。詳しくは「取扱説明書オーディオ編」-「CDプレーヤーの操作」/「MP3プレーヤーの操作」を参照してください。
- サブディスプレイに表示できる情報が無い場合や、英語、数字、記号以外の文字が収録されている場合は、下記を表示します。



再生を止める

① **PWR** を押します。

- もう一度押すと、最後に再生していた曲または音楽ファイルを再度再生します。



4 “メモリースティック”プレーヤーの操作

“メモリースティック”を聞くには

“MGメモリースティック”(白)に記録された音楽データを再生することができます。

“メモリースティック”を再生する

■ “MGメモリースティック”が挿入されていないとき

① 挿入口に“MGメモリースティック”を挿入します。

- “MGメモリースティック”挿入後は、下記の①、②の手順を操作します。

■ “MGメモリースティック”が挿入されているとき

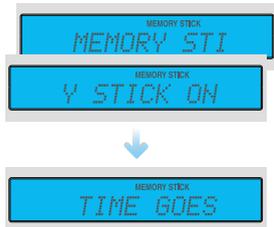
① ロータリーボタンを回し、MS (“メモリースティック”)を選びます。



② MS (“メモリースティック”)が表示されているときにロータリーボタンを押します。



- アルバム名、トラックタイトルを順にスクロール表示し、その後トラックタイトルを固定表示します。



聞きたい音楽データを選ぶ

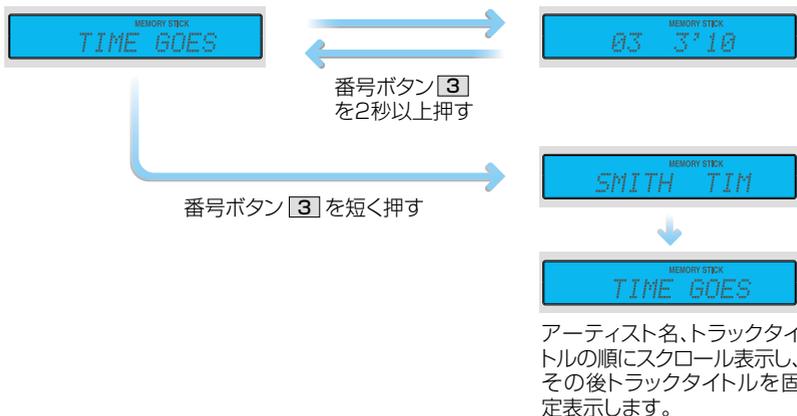
① ▲、▼を押します。



TUNE/TRACKボタン

サブディスプレイに表示される内容について

再生しているディスクのトラック情報(アルバム名やアーティスト名、曲のタイトル)や、トラックナンバー、再生時間を表示します。



ワンポイント

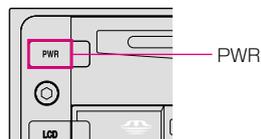
- アルバム名や曲のタイトルは、音楽データの作成方法により表示できない場合があります。詳しくは「取扱説明書オーディオ編」-「“メモリースティック”プレーヤーの操作」を参照してください。
- サブディスプレイに表示できる情報が無い場合や、英語、数字、記号以外の文字が収録されている場合は、下記を表示します。



再生を止める

1 **[PWR]** を押します。

- もう一度押すと、最後に再生していた音楽データを再度再生します。



5 MUSIC JUKEの操作

MUSIC JUKEについて

MUSIC JUKEは、内蔵のCDプレーヤーやTV、ラジオから音楽・音声を録音することができます。また、録音した音楽に、アルバム名やアーティスト名、ジャンルなどの名称を自動で付けるオートタイトリング機能により、聞きたい曲を、アルバム名やアーティスト名、ジャンルなどから簡単に探し出すことができます。

録音について

録音できるオーディオのソースと録音モード

| 録音可能なオーディオソース | 録音モード |
|---|--------|
| CDプレーヤー (MP3は不可) | デジタル録音 |
| CDプレーヤー (デジタル録音が禁止されているCDの場合) TV (音声)、VTR (音声)、ラジオ、各チェンジャー | アナログ録音 |

録音モードと操作

| 録音モード | | 操 作 |
|--------|--------|------------------------------|
| デジタル録音 | AUTO | CDを挿入すると、自動で録音を開始 |
| | MANUAL | CDを再生中に REC を押すと録音を開始 |
| アナログ録音 | MANUAL | REC を押すと録音を開始 |

オートタイトリング機能について

本機は、あらかじめ23万曲(タイトル)の音楽情報(アルバム名やアーティスト名、曲タイトルなど)をデータベースとして収録しています。音楽CDをデジタル録音すると、自動で、データベースから音楽情報を検索し、「Gracenote CDDB[®] 音楽認識サービス」(詳しくは、「取扱説明書オーディオ編」-「MUSIC JUKEの操作」参照)により、該当するアルバム名やアーティスト名、曲タイトルなどの音楽情報を付けます。

デジタル録音時、該当する情報がある

- アルバム名のリストを作成
- アーティスト名のリストを作成
- 曲名のリストを作成
- ジャンルのリストを作成
- 録音日付のリストを作成

デジタル録音時、該当する情報がない

アナログ録音時

- アルバム名として
CD/ALBUM/001^{*1}のリストを作成
- 曲名として
2003.10.11/CD/001^{*2}のリストを作成
- 録音日付のリストを作成

※1:オーディオのソース/ALBUM/3桁の番号

※2:録音した日付/録音したオーディオソース/3桁の番号

画面の見方

再生画面



設定 録音モードの切り替え(101ページ参照)や、録音ビットレートの切り替えなどができます。

編集 名称編集や、オリジナルリストを作成などができます。

(詳しくは、「取扱説明書オーディオ編」-「MUSIC JUKEの操作」を参照してください。)

検索画面(プレイモード選択画面)



プレイモードスイッチ*

リストが収録されているグループを切り替えるスイッチです。

<例>

アルバム名で検索する場合は、「アルバム」にタッチします。

※マイセレクトは、お好みに合わせて、作成したオリジナルリストが収録されます。(詳しくは、「取扱説明書オーディオ編」-「MUSIC JUKEの操作」を参照してください。)

検索画面(プレイリスト選択画面)



プレイリストスイッチ

各プレイモードに収録されているリスト名称を表示します。

<例>

アルバムプレイモードの中に、「スマ」、「ECLIPSE」、「「マル」、「Life」というアルバム名のリストが収録されています。

検索画面(トラック選択画面)



トラック名称(曲名)スイッチ

各プレイリストに収録されているトラック名称(曲名)を表示します。聞きたいトラック名称(曲名)にタッチすると、再生を始めます。

画面の表示方法については、「聞きたいトラック(曲)を選ぶ」102ページを参照してください。

MUSIC JUKEの操作

MUSIC JUKEに録音するには

ここでは、内蔵のCDプレーヤーから音楽CDを録音する方法を説明します。

自動で録音する

デジタル録音モードをAUTOに切り替えてから操作します。

- 1 挿入口にCDを挿入します。
- "REC"が表示され、録音を開始します。

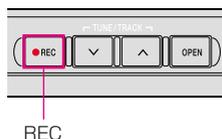


録音待機中は"REC"を表示し、録音中は"REC"が回転します。

お好みのトラックを録音する

デジタル録音モードをMANUALに切り替えてから操作します。

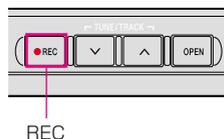
- 1 CDを再生します。
 - 2 録音する曲を選びます。
 - 3 **REC** を1秒以上押します。
- 曲の途中でRECを押した場合は、再生している曲の頭に戻り、録音を開始します。
 - "REC"が表示され、録音を開始します。



録音待機中は"REC"を表示し、録音中は"REC"が回転します。

録音を停止する

- 1 **REC** を1秒以上押します。



デジタル録音モードを切り替える

デジタル録音方式をAUTO(自動)からMANUAL(手動)に切り替えることができます。

- 1 オーディオメニューで、**MUSIC JUKE** にタッチします。



- 2 **設定** にタッチします。



- 3 **MANUAL** にタッチします。



- 4 **戻る** にタッチします。

MUSIC JUKEの操作

MUSIC JUKEを聞くには

MUSIC JUKEを再生する

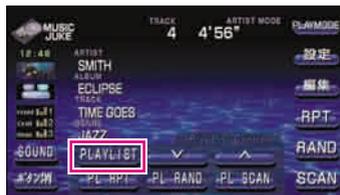
- 1 **SOURCE** を押して、オーディオメニュー画面を呼び出します。
- 2 **MUSIC JUKE** にタッチします。
 - 前回、MUSIC JUKEを再生していた場合は、最後に聞いたトラック(曲)の頭から再生を始めます。



聞きたいトラック(曲)を選ぶ

ここでは、プレイリストやトラックをリスト表示しながら、聞きたいトラック(曲)を選ぶ方法について説明します。

- 1 **PLAY LIST** にタッチします。
- 2 プレイモードにタッチして、検索方法を選びます。



プレイモード

3 プレイリストにタッチして、聞きたいプレイリストを選びます。

4 **TRACK** にタッチします。

- **再生** にタッチすると、プレイリストに収録されている先頭の曲から再生を始めます。



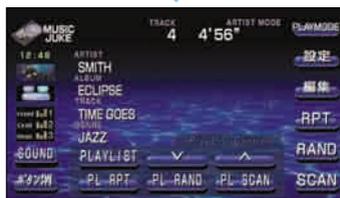
プレイリスト

5 **トラック(曲)**にタッチします。



トラック(曲)

- 選んだトラック(曲)情報を表示します。



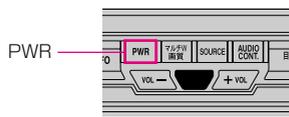
ワンポイント

同じモード内にリストが4個以上ある場合は、**▲**・**▼** にタッチすると、リストを切り替えて表示することができます。

再生を止める

1 **PWR** を押します。

- もう一度押すと、最後に聞いていたトラック(曲)の頭から再生を始めます。



MUSIC JUKEの操作

自分だけのアルバムリストを作成してみよう

オリジナルプレイリストを作成する

お好みの曲だけを集めたオリジナルプレイリストを作成することができます。1つのプレイリストには最大99曲を収録することができます。作成したプレイリストは、プレイモードのマイセレクトから探すことができます。



ワンポイント

作成したプレイリストには、必ずトラック(曲)を収録してください。プレイリストを作成しても、トラック(曲)が収録されていないと、プレイリストは登録されません。

1 MUSIC JUKEの操作画面で、**編集**にタッチします。

- 音楽を再生している場合は、再生を一時停止します。



2 **プレイリストの新規作成** にタッチします。



- アルバムリストに「私のベストコレクション」というタイトルを付けます。

3 **タイトル** にタッチします。



4 **わ、た、し** にタッチします。



5 **変換** にタッチします。



6 **私** にタッチします。



7 **の** にタッチします。



8 **無変換** にタッチします。



9 **カナ** にタッチします。



MUSIC JUKEの操作

- 10 **へ、ゝ、ス、ト、コ、レ、ク、シ、ヨ、ン**の順にタッチします。



- 11 **完了**にタッチします。



- 「タイトル」が登録されます。

- 12 **読み**にタッチします。

- 読みを入力しなくても、プレイリストを作成することができます。



- 13 **ワ、タ、シ、ノ、へ、ゝ、ス、ト、コ、レ、ク、シ、ヨ、ン**の順にタッチします。



14 **完了** にタッチします。



- 「読み」が登録されます。

15 **完了** にタッチします。



■ プレイリストにトラック (曲) を収録します。

16 **プレイモード** にタッチします。



17 **プレイリスト** にタッチします。

- **トラック** にタッチすると、MUSIC JUKEに収録されている全てのトラック (曲) を一覧で表示します。
- **A**、**V** にタッチすると、リストを切り替えて表示します。



MUSIC JUKEの操作

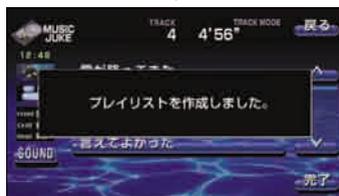
18 収録したいトラック(曲)にタッチします。

- 一度に複数のトラック(曲)を収録する場合は、収録したいトラック(曲)全てにタッチしてください。
- A**、**V**にタッチすると、リストを切り替えて表示します。



19 完了にタッチします。

- 作成したプレイリストが登録され、2の画面にもどります。



ワンポイント

MUSIC JUKEは他にもいろいろな編集ができます。
詳しくは「取扱説明書オーディオ編」-「MUSIC JUKEの操作」を参照してください。

6 TVの操作

TVを見るには

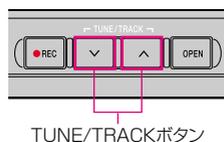
ソースをTVにする

- 1 **SOURCE** を押して、オーディオメニュー画面を呼び出します。
- 2 **TV** にタッチします。



よく見る放送局を記憶させる

- 1 **▲**、**▼** を押します。
 - 手動選局 軽く押すと、1chずつ切り替わります。
 - 自動選局 "ピツ"と音がするまで押すと、自動で選局します。
- 2 プリセットスイッチを"ピーツ"と音がするまでタッチします。
 - プリセットスイッチからチャンネルを選ぶときは、見たいチャンネルにタッチし、**決定** にタッチします。



TUNE/TRACKボタン



プリセットスイッチ

TVの操作

自動で放送局を探して、記憶させる

■ AUTOプリセット機能を使う

受信可能な放送局を検索し、一時的にプリセットスイッチに記憶させる機能です。必要が無くなれば、簡単にもとの記憶させていた放送局に切り替えることができます。

① **AUTO.P** を"ピーツ"と音がするまでタッチします。

- もう一度 **AUTO.P** にタッチすると、もとの記憶されていたチャンネルに表示が切り替わります。



複数のチャンネルを表示させる

プリセットスイッチに記憶されている放送局を8画面に分割して同時に表示することができます。

① **マルチ** にタッチします。

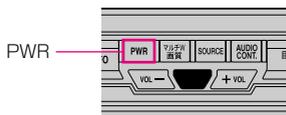
- 各画面は動画、静止画の順に切り替わります。
- チャンネルにタッチすると、全画面になります。



TVを止める

① **PWR** を押します。

- もう一度押すと、最後に受信していたチャンネルの音声を出力します。**AUDIO CONT** を押すとTV画面を表示します。



7 DVDプレーヤーの操作

DVDビデオを見るには

DVDを再生する

■ DVDが挿入されていないとき

① 挿入口にDVDを挿入します。

- 自動で再生を始めます。

■ DVDが挿入されているとき

① SOURCE を押して、オーディオメニュー画面を呼び出します。

② DVD にタッチします。



ワンポイント

再生するDVDによっては自動再生されないものがあります。その場合は、DVDに収録されているディスクメニューを操作して再生してください。

映像を操作する

再生中の映像を簡単に操作することができます。

① 操作スイッチにタッチします。

- 一時停止中()に に短くタッチすると、スロー再生し、 にタッチすると、コマ送り再生します。



早送り・早戻しする

① 、 を"ピツ"と音がするまで押します。



TUNE/TRACKボタン

DVDプレーヤーの操作

見たいチャプターを選ぶ

- 1 ▲、▼を押します。



TUNE/TRACKボタン

ディスクメニューを操作する

- 1 NEXT にタッチします。



- 2 メニュー、または トップメニュー にタッチします。



- 3 + にタッチします。



- 4 ↓、↑、←、→ にタッチし、再生したい内容を選びます。



- 5 決定 にタッチします。

便利な機能

再生するディスクに複数のアングルや字幕言語、音声言語が収録されている場合、簡単に切り替えることができます。

- 1 **NEXT** にタッチします。
- 2 **アングル**、または **字幕**、**音声** にタッチします。

- **アングル切換** アングル切換にタッチすることにより、アングルを切り替えることができます。
- **字幕切換** 字幕切換にタッチすることにより、字幕言語を切り替えることができます。
- **音声切換** 音声切換にタッチすることにより、音声言語を切り替えることができます。

マルチアングルマーク



↓
アングルに
タッチした場合

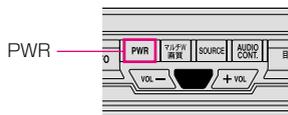


ワンポイント

- ディスク内容によって再生を行うため、操作したとりに機能しない場合があります。
- マルチアングルマークは、ディスク内の複数アングルが選択可能な状態になったときに表示されます。

DVDを止める

- 1 **PWR** を押します。
- もう一度押すと、最後に再生していたDVDビデオの音声を出力します。**AUDIO CONT** を押すとDVD画面を表示します。



8 音質の調整

音質を調整しよう

お聞きになる音楽に合わせて擬似的に演奏会場を創り出したり、きめ細かく音質を調整することができます。また、お聞きになる位置に合わせて音場の中心を調整したり、各スピーカーの音量バランスを調整することができます。

音楽のイメージに合わせて演奏会場を再現する

1 SOUND にタッチします。

- TV、VTRのときは **設定** に、DVDのときは **NEXT**、**設定** の順にタッチすると **SOUND** が表示されます。



2 DSP にタッチします。



3 お好みの音場スイッチにタッチします。

- 戻る** にタッチすると、設定は記憶され、前に表示していた画面にもどります。



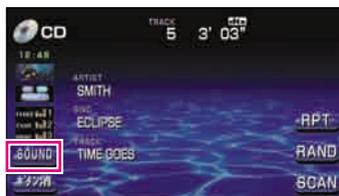
| タッチスイッチ | 音場モードの種類 |
|------------------|------------------|
| CONCERT | コンサートホールを再現したモード |
| LIVE | ライブハウスを再現したモード |
| CATHEDRAL | 残響音の多い教会を再現したモード |
| STADIUM | 野外スタジアムを再現したモード |
| CLUB | ディスコ、クラブを再現したモード |
| OFF | DSP OFF |

音楽に合わせて音質を調整する

Front、Center、Rearを別々に調整し、記憶させることができます。

1 SOUND にタッチします。

- TV、VTRのときは **設定** に、DVDのときは **NEXT**、**設定** の順にタッチすると **SOUND** が表示されます。



2 EQ にタッチします。



3 Front、Center、Rear にタッチします。



4 EQ1 ~ EQ5 にタッチします。

- 戻る** にタッチすると、設定は記憶され、前に表示していた画面にもどります。



| タッチスイッチ | 音質モードの種類 | タッチスイッチ | 音質モードの種類 |
|-------------|---------------|------------|------------------|
| FLAT | EQ補正なし | EQ3 | JAZZに効果のあるカーブ |
| EQ1 | POPSに効果のあるカーブ | EQ4 | CLASSICに効果のあるカーブ |
| EQ2 | ROCKに効果のあるカーブ | EQ5 | VOCALに効果のあるカーブ |

音質の調整

聞く位置に合わせて音場の中心を調整する

1 SOUND にタッチします。

- TV、VTRのときは **設定** に、DVDのときは **NEXT**、**設定** の順にタッチすると **SOUND** が表示されます。



2 POS にタッチします。



3 ポジション(シート)にタッチします。

- 戻る** にタッチすると、設定は記憶され、前に表示していた画面にもどります。



| 表 示 | ポジション(位置) | 表 示 | ポジション(位置) |
|---|-----------------|---|----------------|
|  | 運転席を 中心にした音場 |  | 前席を 中心にした音場 |
|  | 助手席を 中心にした音場 |  | 後席を 中心にした音場 |



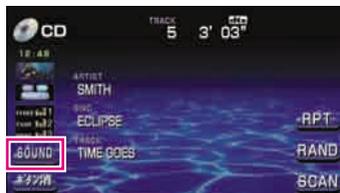
ワンポイント

音量バランス調整(次ページ)と同時に設定できません。

前後左右の音量バランスを調整する

1 SOUND にタッチします。

- TV、VTRのときは **設定** に、DVDのときは **NEXT**、**設定** の順にタッチすると **SOUND** が表示されます。



2 POS にタッチします。

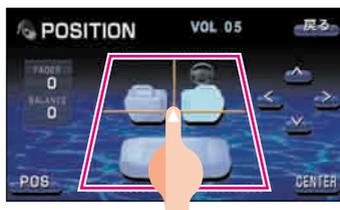


3 BALANCE FADER にタッチします。



4 内のお好みの場所にタッチします。

- **戻る** にタッチすると、設定は記憶され、前に表示していた画面にもどります。



音場の中心調整 (前ページ) と同時に設定できません。

ワンポイント

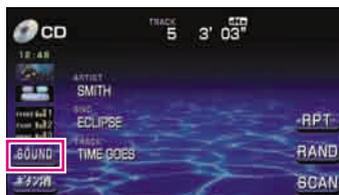
音質の調整

スピーカー情報を設定するには

お車に接続されているスピーカーの種類やサイズを設定することができます。

1 SOUND にタッチします。

- TV、VTRのときは **設定** に、DVDのときは **NEXT**、**設定** の順にタッチすると **SOUND** が表示されます。



2 SET にタッチします。



3 SP設定 にタッチします。



4 スピーカーサイズおよびWoofer (ウーファ)の有無を設定します。

- Front (フロントスピーカー)は、“LARGE”に設定されています。
- 各タッチスイッチにタッチすると、下記のようにスピーカーサイズが切り替わります。

Center LARGE → SMALL
 ↑ ↙ ↘
Rear NONE
Woofer YES ↔ NO



各スピーカーのサイズと機能

| スピーカーの種類 | 接続 | サイズ | 機能 |
|-----------------------|----|-------|---|
| Center (センタースピーカー) | 無 | NONE | センタースピーカーからの出力は、フロント左右のスピーカーに振り分けられ出力されます。 センタースピーカーから出力されません。 |
| | 有 | SMALL | お車のスピーカーが100Hz以下の低域を出力できない場合は“SMALL”に設定してください。 (100Hz以下の低域は出力されません。) |
| | | LARGE | お車のスピーカーが100Hz以下の低域を出力できる場合は“LARGE”に設定してください。 |
| Rear (リヤスピーカー) | 無 | NONE | リヤスピーカーからの出力は、フロント左右のスピーカーに振り分けられ出力されます。 リヤスピーカーから出力されません。 |
| | 有 | SMALL | お車のスピーカーが100Hz以下の低域を出力できない場合は“SMALL”に設定してください。 (100Hz以下の低域は出力されません。) |
| | | LARGE | お車のスピーカーが100Hz以下の低域を出力できる場合は“LARGE”に設定してください。 |
| Woofer (ウーファ) | 有 | YES | ウーファスピーカーから出力されます。 |
| | 無 | NO | ウーファスピーカーから出力されません。 |

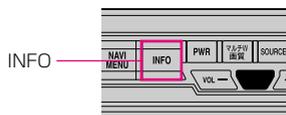
- センタースピーカーを接続していない場合はCenter(センタースピーカー)を“NONE”に設定すると、5.1ch対応のディスクを楽しむことができます。
- モノラル方式で収録されたDVDビデオはセンタースピーカーからのみ音声出力されます。センタースピーカーを接続していても、Centerを“NONE”に設定すると、センタースピーカーからの音声をフロント左右のスピーカーに振り分けて出力します。

9 その他の設定

スイッチの操作音(“ピッ”)を変えてみよう

パネルボタンを押したときや、画面のタッチスイッチにタッチしたときに“ピッ”と鳴る操作音を変えたり、出なく(消音)することができます。

- 1 **INFO** を押して、インフォメーション(情報)画面を呼び出します。



- 2 **設定** にタッチします。

- **設定** からはいろいろな調整ができます。詳しくは「取扱説明書オーディオ編」-「基本操作」を参照してください。



- 3 操作音設定の **1**、**2**、**3**、**4** のいずれかにタッチします。

- **OFF** にタッチすると、操作音が出なくなります。(消音)



- 4 **設定完了** にタッチします。

- 前に表示していた画面にもどります。



画面の表示サイズを切り替えよう

TVやDVD、VTRの表示画面サイズを切り替えることができます。

TVの表示画面サイズを切り替える

1 設定 にタッチします。

- DVDのときは **NEXT** にタッチすると、**設定** が表示されます。



2 ワイドモード にタッチします。

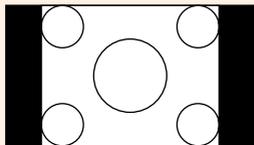


3 切り替えたいサイズにタッチします。



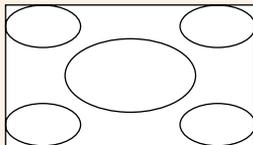
■ 標準画モード

普通のTV画面の大きさを両端が黒く表示されます。



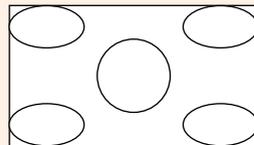
■ ワイド1画モード

普通のTV画面の大きさを左右方向に均等に拡大して表示します。



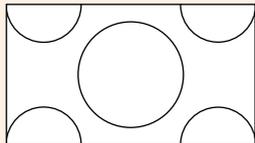
■ ワイド2画モード

普通のTV画面の大きさを左右方向に非均等に拡大して表示します。



■ ワイド3画モード

普通のTV画面の大きさを上下左右方向に均等に拡大して表示されます。



注意

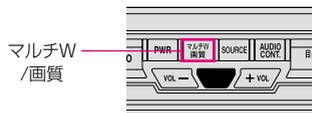
お客様が個人的にワイド画面で視聴する限りにおいては問題ありませんが、営利目的、または公衆に視聴させることを目的として画面の圧縮・引き伸ばしなどを行うと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。

1 マルチウィンドウの操作

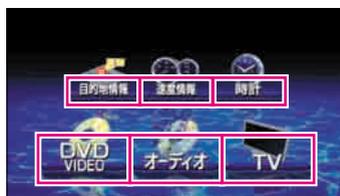
ナビゲーション画面とオーディオ画面を同時に表示しよう

マルチウィンドウ機能を使用すると、ナビゲーションの地図画面とオーディオ画面などを同時に表示することができます。

- 1 **マルチW/画質** を押します。



- 2 表示したいモードにタッチします。



- マルチウィンドウ機能を解除するときは **現在地/NAVI** を押してください。
- 行き先までのルート案内中にマルチウィンドウを表示していると、分岐する交差点に近づいても、交差点拡大図を表示しません。

■ **DVD VIDEO** にタッチすると

DVD画面を表示します。



■ **目的地情報** にタッチすると

目的地周辺の衛星画像を表示します。



■ **オーディオ** にタッチすると

最後に聞いていたオーディオを表示します。



■ **速度情報** にタッチすると

現在の速度、高度、速度履歴を表示します。



■ **TV** にタッチすると

TV画面を表示します。



■ **時計** にタッチすると

現在の時刻を表示します。



マルチウィンドウの操作

マルチウィンドウを操作しよう

TV/DVDの操作



全画面 にタッチ



TV画面では、**▲ ▼** にタッチするとチャンネルを順に切り替え、DVD画面では、**▲ ▼** にタッチするとチャプターを順に切り替えます。



ワンポイント

TV、DVD画面は、**全画面** にタッチすると通常のTV、DVDに切り替わります。再度マルチウィンドウ画面を表示するときは **マルチW/画質** を押し、**TV** または **DVD** にタッチしてください。

オーディオ画面の操作



全画面 にタッチ



ラジオモードでは放送局の切り替え、CD、“メモリースティック”、MUSIC JUKE、MP3、チャンネルモードでは、曲やリストを切り替えます。



ワンポイント

- オーディオ画面は、**全画面** にタッチすると通常のオーディオに切り替わります。再度マルチウィンドウ画面を表示するときは **AUDIO CONT** を押してください。(TV、DVD画面からは、マルチウィンドウ画面にもどりませんので再度、122ページの **①**、**②** の手順を操作してください。)
- オーディオのソースを切り替えるときは、**SOURCE** を押して、各ソースにタッチしてください。ソースが切り替わりマルチウィンドウ画面にもどります。

目的地情報画面の操作



- 目的地情報画面は、行き先が設定されていて、行き先周辺の衛星画像 (IKONOS) 情報が収録されている場合、表示することができます。(衛星画像が収録されている地域などについては、「取扱説明書ナビゲーション編」-「衛星画像 (IKONOS) の表示」を参照してください。)
- 全画面で表示している場合 **詳細**、または **広域** にタッチすると、衛星画像画面の縮尺を切り替えることができます。

速度情報/時計の操作



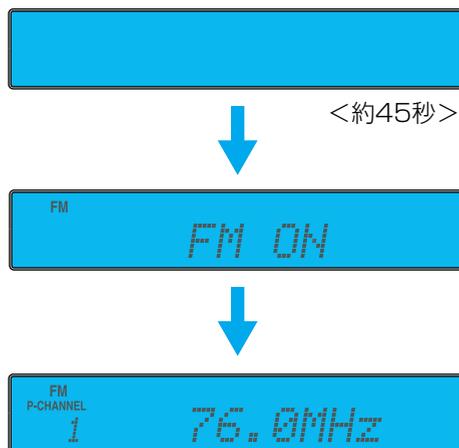
1 バッテリーの交換時などについて

■ バッテリーを交換したときは（バッテリー電源を接続したときは）

バッテリーを交換したとき（バッテリーの⊕ターミナルを接続）は、エンジンキー（ACC）を「ON」にするとプログラムの読み込みが開始されます。プログラム読み込み中は絶対にバッテリーターミナルをはずさないでください。

また、サブディスプレイの表示部／ディスプレイの画面が下記のように切り替わるまでは、本機およびエンジンキーの操作をしないでください。

ディスプレイを収納しているとき



ディスプレイを立ち上げているとき



<約4秒>



<約3秒>



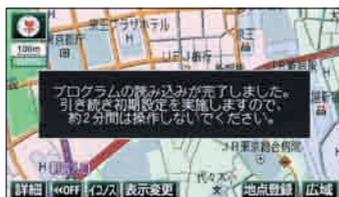
<約19秒>



<約12秒>



<約5秒>



<約2分>



2 お手入れについて

本機やアンテナのお手入れについて

本機のお手入れについて

- 汚れをおとすときは、柔らかい布（シリコンクロスなど）をお使いください。

汚れがひどいとき、水でうすめた台所用洗剤にひたした布をよく絞ってふきとり、乾いた布でしあげる。



タッチパネルは傷がつきやすいのでご注意ください。

化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

- ベンジンやシンナーなどの揮発性のある薬品は使用しないでください。



変質したり、塗装がはげることがあります。

アンテナのお手入れについて

- GPSアンテナにワックスがけや塗装をしないでください。電波の受信感度低下や受信不能の原因になります。
- 一度、貼り付けたフィルムアンテナははがさないようにしてください。機能が損なわれます。
- フロントウィンドウ（室内側）のお手入れの際、フィルムアンテナは柔らかい布で優しく拭き取るようにしてください。汚れのひどいときは水に薄めた中性洗剤に浸した布で乾拭きしてください。アルコール、シンナー、ベンジン、ガソリン等揮発性のものはご使用にならないでください。表面処理を傷める原因となります。
- フィルムアンテナ貼り付け後しばらくたってから、稀に気泡が発生することがありますが、油膜が完全に除去されている場合は数日で消えます。
- 一部の車種に採用されている断熱ガラス、熱遮断フィルムには電波を反射させる性質があり、受信感度が極端に低下する場合があります。またお車のフロントガラスにミラータイプ等のフィルムを貼っている場合、受信感度が落ちることがあります。

3 アフターサービスについて

アフターサービス

- 1.この商品には保証書を添付しております。
保証書は販売店でお受け取りの際、必ず「販売店名、お買い上げ日」などの記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。
- 2.保証期間は、お買い上げ日から1年間です。
- 3.調子が悪いとすぐ故障と考えがちですが、修理に出す前に「取扱説明書ナビゲーション編」、「取扱説明書オーディオ編」を、もう一度よくご覧のうえ調べてください。簡単な調整やお手入れで直ることがあります。それでも具合が悪いときは、次により修理をお申しつけください。
 - ◆修理の受け付けは、お求めの販売店が行います。
 - ◆保証期間中は、商品に保証書を添えてお求めの販売店にお持ち込みください。
保証書に記載しております保証規定にもとづいて、無料で修理いたします。
※修理、点検に要する商品の脱着費用は、保証期間内においても基本的に有償となります。
 - ◆保証期間が過ぎているときは、お客様のご希望によりまして、有料で修理をお引き受けいたしますのでお求めの販売店にお持ち込みください。
- 4.出張による修理、点検は行っておりません。
- 5.この商品の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）は、製造打ち切り後最低6年間保有しております。

アフターサービスについて

商品に関するお問い合わせ先 アフターサービスについて

商品のアフターサービスに関するお問い合わせはお求めの販売店または下記「お客様相談窓口」へ

※修理のご依頼は、お求めの販売店へお願いいたします。

【お客様相談窓口】

| | |
|-------------|----------------|
| 富士通テン（株）本社 | 0120-022210 |
| 北海道全域 | (011) 821-2221 |
| 東北、関東、甲信越地区 | (03) 3366-3833 |
| 中部、北陸地区 | (052) 581-8726 |
| 近畿、中国、四国地区 | (078) 682-2245 |
| 九州全域、沖縄 | (092) 511-3252 |

受付時間：午前10:00～12:00 午後1:00～5:00
(土・日・祝日などを除く)

＜商品のご購入、組み合わせ等に関するお問い合わせについては、お求めの販売店または最寄りの下記販売会社へ＞

| | | | |
|-------------|--|---------------|------------------------|
| 富士通テン東日本（株） | 〒160-0023 東京都新宿区西新宿 8 丁目14番24号 (西新宿KFビル) | (03)5330-6244 | 東京、神奈川、千葉、 甲信越地区 |
| 北海道支社 | 〒003-0809 札幌市白石区菊水 9 条 2 丁目 1 番地 | (011)821-2221 | 北海道全域 |
| 北関東支店 | 〒329-0201 栃木県小山市大字粟宮1851番地1 | (0285)22-6410 | 栃木、埼玉、群馬、茨城 |
| 東北支店 | 〒983-0841 仙台市宮城野区原町2丁目3番48号 (イワイビル) | (022)256-2291 | 東北地区 |
| 富士通テン中部（株） | 〒450-0003 名古屋市中村区名駅南3丁目11番10号 | (052)581-8621 | 愛知、岐阜、三重 |
| 北陸支店 | 〒921-8005 金沢市間明町2丁目147 (セレッソワン101) | (076)292-1685 | 福井、石川、富山 |
| 静岡支店 | 〒421-0122 静岡市用宗5丁目1番10号 (サンライズ用宗105) | (054)259-2820 | 静岡 |
| 富士通テン西日本（株） | 〒663-8241 西宮市津門大塚町7番35号 | (0798)36-7481 | 兵庫、大阪、京都、滋賀、 奈良、和歌山 |
| 中国支店 | 〒734-0044 広島市南区西霞町2番25号 | (082)255-2422 | 中国地区 |
| 四国支店 | 〒760-0034 高松市内町1番13号（日新内町ビル） | (087)822-1411 | 四国地区 |
| 九州支社 | 〒815-0032 福岡市南区塩原2丁目7番7号 | (092)511-3210 | 福岡、佐賀、長崎、熊本、 大分、沖縄 |
| 鹿児島営業所 | 〒890-0053 鹿児島市中央町16番10号（スカイビル） | (099)250-4737 | 鹿児島、宮崎 |

4 仕様について

各仕様

GPSアンテナ

| | |
|--------|-------------------------------|
| 寸法 | 34 (W) × 13.2 (H) × 38 (D) mm |
| 重量 | 約25 (g) (除くケーブル) |
| 供給電源電圧 | 4.0 ~ 5.0 (V) |
| 消費電流 | 10 ~ 30 (mA) 以下 |
| 作動温度 | -30 ~ 90 (°C) |
| 保存温度 | -40 ~ 110 (°C) |

テレビ・ディスプレイ

| | |
|---------|------------------------------------|
| 受信チャンネル | VHF1~12チャンネル, UHF13~62チャンネル |
| 液晶パネル | 7型ワイド低反射パネル |
| 画面寸法 | 156 (W) × 83.28 (H) mm |
| 画素数 | 1,152,000個 (800 (H) × 480 (V) × 3) |
| 有効画素率 | 99.99%以上 |
| 表示方法 | 透過型カラーフィルター方式 |
| 駆動方式 | TFT (薄膜トランジスタ) アクティブマトリックス方式 |
| 動作温度範囲 | -20°C ~ +65°C |
| 保存温度範囲 | -40°C ~ +85°C |

ラジオ・チューナー部

| | |
|-------------|--|
| 受信周波数 | ●AM522~1,629kHz ●FM76~90MHz |
| 実用感度 | ●AM22 μ V (S/N20dB) ●FM14dBf (新IHF) |
| 周波数特性 | 30~15,000Hz (FM) |
| ステレオセパレーション | 35dB (1kHz) |

仕様について

CD部

| | |
|-----------|-------------------|
| ワウ・フラッタ | 測定限界以下 |
| 高調波歪み率 | 0.01% (0dB, 1kHz) |
| 周波数特性 | 20~20,000Hz |
| S/N比 | 90dB (1kHz) |
| ダイナミックレンジ | 88dB |

MUSIC JUKE/メモリースティック部

| | |
|--------|---------------------------|
| 高調波歪み率 | 0.3% (1kHz, 0dB, 0.5W出力時) |
| 周波数特性 | 20~20,000Hz |
| S/N比 | 80dB (1kHz) |

共通部

| | |
|-------------|-----------------------------|
| 定格出力 | 15W×4 (1kHz, 1%4Ω) (EIAJ) |
| 最大出力 | 50W×4 (試験電圧14.4V) |
| 適合負荷インピーダンス | 4Ω (各チャンネル) |
| 電源電圧 | DC13.2V (11-16V) アース専用 |
| 消費電流 | ●0.5W×4出力時 約3.7A ●最大約14A |
| 外形寸法 | 横幅178mm・高さ100mm・奥行165mm |
| 質量(重量) | 約4.0kg |

HDD (ハードディスクドライブ) 部

| | |
|--------|---------------|
| 使用温度範囲 | - 10℃ ~ + 60℃ |
|--------|---------------|

バックアイカメラ (別売)

| | |
|----------------------------|---------------------|
| 撮像素子 | 1/4インチ カラーCCD |
| CCD画素数 | 約27万画素 |
| 水平解像度 | 300TV(中心)以上 |
| カメラ | 焦点距離 f = 1.7mm |
| | F値 1:3.5 |
| | 画角(水平、垂直) 120°、84° |
| TV方式 | NTSC |
| 標準映像出力レベル | 1Vp-p(75Ω) |
| 最低被写体照度 | 2 lux(25IRE) |
| ホワイトバランス方式 | 自動 |
| 自動感度調整範囲 | 1:1600以上 |
| 電源電圧 | DC6V ± 0.3V |
| 消費電流 | 190mA(最大) |
| ケーブル長 | 11.5m |
| 使用温度範囲 | - 20°C ~ + 60°C |
| 保存温度範囲 | - 30°C ~ + 80°C |
| 外形寸法カメラユニット (W × H × D) | 約34mm × 27mm × 28mm |
| 質量(重量) | 約50g(除くケーブル) |

製品の仕様および外観等の変更により、本書の内容が本機と一致しない場合がありますのでご了承ください。

5 凡例

表示①…リアルワイドマップ画面

表示②…通常地図画面

| 表示① | 表示② | 内容 | 表示① | 表示② | 内容 |
|-----|-----|-------------------------------|-----|-----|--------------|
| | | 高速・都市高・有料道路 | | | 港湾 |
| | | 国道 | | | 空港・飛行場 |
| | | 主要道 | | | 学校 |
| | | 県道 | | | 幼稚園 |
| | | その他の道路（巾5.5m以上） | | | 病院・医院 |
| | | その他の道路（巾3.0m以上） | | | 電力会社・発電所 |
| | | トンネルまたは整備計画区間 （上記各道路で表示あり） | | | 電話局 |
| | | 私鉄 | | | 銀行・信用金庫・農協 |
| | | JR | | | デパートなど |
| | | 水域 | | | ホテル・旅館など |
| | | 都道府県界 | | | ビル |
| | | 緑地 | | | 工場 |
| | | 駅舎・敷地 | | | 灯台 |
| | | 陸切 | | | 神社 |
| | | ボトルネック陸切* | | | 寺院 |
| | | 官公庁 | | | 教会 |
| | | 都道府県庁 | | | 霊園・墓地 |
| | | 市役所・東京23区役所 | | | 城・城跡 |
| | | 町村・東京以外区役所 | | | 名所・観光地など |
| | | 警察署 | | | ゴルフ場 |
| | | 消防署 | | | スキー場 |
| | | 郵便局 | | | 海水浴場 |
| | | インターチェンジ | | | アイススケート場 |
| | | サービスエリア | | | マリナー・ヨットハーバー |
| | | パーキングエリア | | | 陸上競技場・体育館 |
| | | 信号機 | | | キャンプ場 |
| | | 駐車場 | | | 公園 |
| | | 駅 | | | 温泉 |
| | | 道の駅 | | | 山 |
| | | フェリーターミナル | | | その他の施設 |

* 列車が頻繁に通過するため、通過するのに時間がかかる踏み切り。

表示されるマークの位置は実際と異なることがあります。また、複数の施設を代表して1つのマークで表示することがあります。

富士通テン株式会社

〒652-8510 神戸市兵庫区御所通1丁目2番28号

電話 神戸 (078) 671-5081



この説明書の印刷には、植物性大豆油インキを使用しています。

この説明書は、再生紙を使用しています。

©富士通テン株式会社 2003

090002-2640A700
0405C (N)